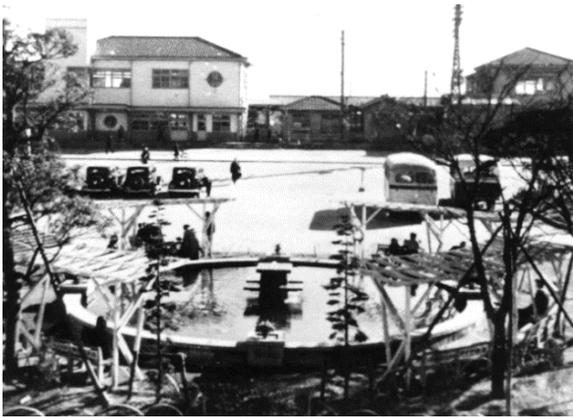


平成27年度予算の概要



昭和24年



昭和56年



今後の整備イメージ

～戦後70年（土浦駅前の様子）～



土浦市

目 次

平成27年度予算の概要	1
-------------------	---

平成27年度主要事業

第2款 総務費	17
第3款 民生費	30
第4款 衛生費	38
第5款 農林水産業費	46
第6款 商工費	51
第7款 土木費	55
第8款 消防費	77
第9款 教育費	80
第11款 災害復旧費	92

下水道事業特別会計	95
公設地方卸売市場 事業特別会計	98
土浦駅前北地区市街地 再開発事業特別会計	99
水道事業会計	100
第7次土浦市総合計画 体系別主要事業一覧表	102

1. 予算編成の基本方針



戦後70年という節目の年に当たる平成27年度は、アベノミクス効果による緩やかな景気回復基調が続いている中、本市では、市税収入の減が見込まれながらも、新庁舎が半世紀の時を経て9月にまちなかに開庁するほか、図書館をはじめとする、合併特例債事業など、未来の土浦の礎を築く大型工事が順調に進捗し、歴史に残る最大規模の予算となりました。

また、公債費や維持管理コストの増大が見込まれる中、主要施策の着実な推進と事業の大胆な見直し、老朽化する公共施設の延命化、さらに、学校等の耐震化や改築など、住みやすく災害に強い安心・安全なまちづくりを進めながら、一方で、にぎわい創出や産業の振興等による、まちの活力アップなど、本市の新たな発展を図るための予算を編成しました。

さらに、新たに国が後押しをする、人口減少と超高齢化という課題に取り組む「地方創生」の理念と相まって、聖域なき行財政改革を推進するとともに、長期的な視点に立ち、財政健全化の確立と将来を見据えた持続可能な財政基盤の構築に努めました。

2. 予算の規模等



(単位：千円，%)

区 分	平成27年度	平成26年度	増減	増減率
一般会計	59,290,000	57,270,000	2,020,000	3.5
特別会計	45,280,000	38,653,000	6,627,000	17.1
合 計	104,570,000	95,923,000	8,647,000	9.0

(参考) 予算の伸び率の推移

(単位：%)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
土浦市一般会計	▲ 1.9	1.0	7.4	▲ 2.2	7.2	9.3	3.5
地方財政計画	▲ 1.0	▲ 0.5	0.5	▲ 0.8	0.1	1.8	2.3
国一般会計	6.6	4.2	0.1	▲ 2.2	2.5	3.5	0.5

※平成27年度地方財政計画伸び率は、平成27年1月14日「平成27年度地方財政対策」による。

※平成27年度国一般会計伸び率は、平成27年度予算政府案による。

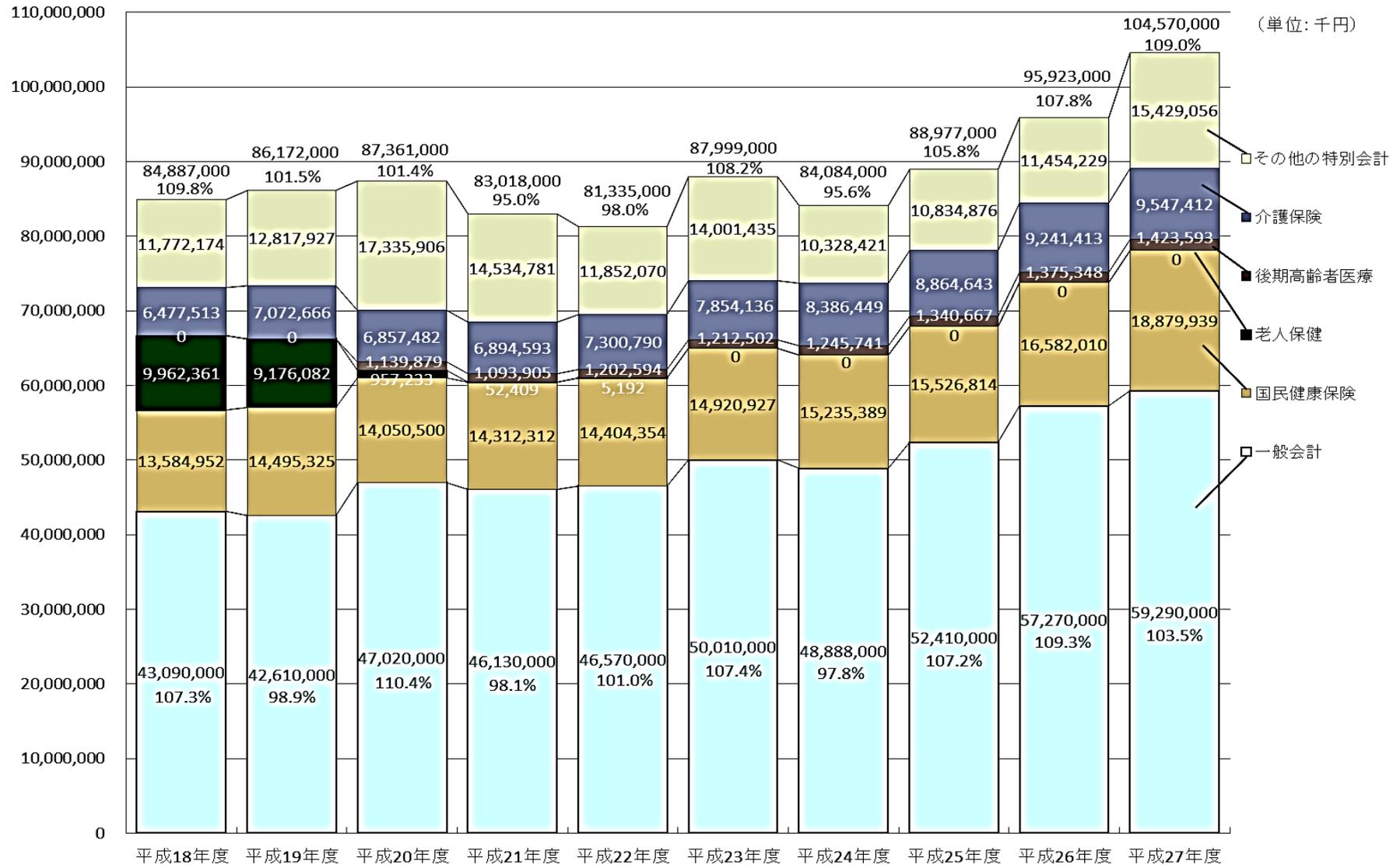
3. 各会計別予算総括



(単位：千円，%)

会 計 別		平成 27 年 度		平成 26 年 度		比 較	
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	伸 率
一 般 会 計		59,290,000	56.7	57,270,000	59.7	2,020,000	3.5
特 別 会 計	公共用地先行取得事業	397,224	0.4	326,758	0.4	70,466	21.6
	駐 車 場 事 業	303,817	0.3	321,633	0.3	▲ 17,816	▲ 5.5
	国 民 健 康 保 険	18,879,939	18.0	16,582,010	17.3	2,297,929	13.9
	後 期 高 齢 者 医 療	1,423,593	1.4	1,375,348	1.4	48,245	3.5
	介 護 保 険	9,547,412	9.1	9,241,413	9.6	305,999	3.3
	下 水 道 事 業	5,830,848	5.6	5,143,347	5.4	687,501	13.4
	公設地方卸売市場事業	159,236	0.2	156,845	0.2	2,391	1.5
	農 業 集 落 排 水 事 業	131,796	0.1	132,529	0.1	▲ 733	▲ 0.6
	土 浦 駅 前 北 地 区 市 街 地 再 開 発 事 業	2,630,560	2.5	310,234	0.3	2,320,326	747.9
	水 道 事 業	5,975,575	5.7	5,062,883	5.3	912,692	18.0
	特 別 会 計 計	45,280,000	43.3	38,653,000	40.3	6,627,000	17.1
合 計		104,570,000	100.0	95,923,000	100.0	8,647,000	9.0

4. 予算規模の推移（会計別）



5. 平成27年度 土浦市予算の特徴



平成27年度土浦市歳入歳出予算は、104,570,000千円となり、対前年度 8,647,000千円、9.0%増加しました。
(一般会計：59,290,000千円 対前年度 2,020,000千円 3.5%増加)

【歳入】

- 市税は、宅地価格の下落等による固定資産税・都市計画税の減額や法人市民税の税率見直しの影響等により、対前年度2.1%の減収となりました。
- 国庫支出金は、新図書館整備や水郷プール再整備事業の交付金等により、対前年度1,242,641千円、15.8%の増となっています。
- 繰入金は、庁舎建設基金に代わり財政調整基金を繰り入れ、対前年度2,999,052千円、53.3%の減、また、5億円の繰越金を初めて予算化しました。
- 市債は、合併特例債事業である市営斎場整備事業費債や、新消防庁舎整備事業費債の増により、対前年度2,175,758千円、22.8%の増となっています。

【歳出】

新庁舎整備事業や合併特例債事業など、本市の歴史に刻まれる大型事業の完成に向け、更なる推進を図るとともに、学校の耐震化対策など、良好な教育環境と災害に強い施設を整備し、地方創生の観点にも鑑みながら、中心市街地活性化計画に基づくコンパクトシティの実現やにぎわい創出を図ります。

ソフト面では、小中一貫教育やICT教育などに引き続き取り組み、環境への配慮や子育て支援、少子高齢化に対応した医療・福祉の充実など、住みやすいまちづくりのための事業を推進していくとともに、行財政改革、市民協働のまちづくりを引き続き推進し、市民満足度の向上を図ります。

- **市営斎場などの老朽化した公共施設の改築や土浦駅前の再生など、本市の歴史に刻まれる事業を推進します。**

市営斎場整備事業 1,244,617千円 土浦駅西口広場・ペDESTリアンデッキ整備事業 1,072,388千円
神立駅西口地区土地区画整理事業 495,000千円
土浦駅前北地区市街地再開発事業（新図書館・ギャラリー整備事業含む） 2,556,725千円

- **未来の人材育成のため、良好な教育環境を創出し、文化やスポーツを通して健全で豊かな心を育む事業を推進します。**

中学校施設耐震化事業 214,610千円（全校の耐震化完了） 小学校・中学校施設非構造部耐震化事業 374,000千円
都和小学校校舎改築事業 1,520,713千円 第二小学校屋内運動場改築事業 314,229千円
小中一貫教育推進事業 41,208千円 新治地区小中一貫教育学校整備事業 43,281千円
水郷プール再整備事業 1,477,895千円 川口運動公園野球場整備事業 101,468千円
学校給食センター再整備事業 32,666千円

- **防災対策、防犯対策の推進及び消防力を強化し、「安心・安全のまちづくり」を推進し、市民の生活を守ります。**
新消防庁舎整備事業 2,252,114千円 地域防災対策整備事業 31,090千円 防犯対策事業 70,634千円（一部26年度）
消防救急無線のデジタル化等共同整備事業 146,440千円 消防署所再編事業 4,153千円
- **乳幼児からお年寄りまでの生活や健康を守ることや、安心して子育てのできる福祉を増進します。**
新たな子ども・子育て支援制度による認定ごとも園運営事業 740,138千円 地域型保育運営事業（2園）70,195千円
公的医療機関高度専門医療体制運営支援事業 100,000千円 医療体制強化事業（寄付講座拡充分） 28,000千円
- **新たなごみ収集体制や環境改善対策など、生活と環境に配慮した事業を推進します。**
生ごみ分別収集事業 297,603千円 プラスチック製容器包装分別収集事業 63,944千円
住宅用環境配慮型設備導入補助事業 12,200千円 汚泥再生処理センター整備事業 4,000千円
住宅リフォーム助成事業 17,260千円 右廻配水場整備事業 1,164,000千円
- **新庁舎を核とした中心市街地のにぎわいを創出し、市民協働のまちづくりを推進します。**
亀城モール整備事業 614,449千円 イルミネーション事業 13,000千円（26年度）
かわまちづくり事業 17,092千円 協働のまちづくりファンド事業 16,725千円
ふるさと土浦応援寄付事業（特典付き） 3,150千円
- **産業の振興を図り、経済力アップ、魅力度アップを推進します。**
そばまつり事業 2,400千円 田んぼアート事業 1,500千円 農産物地域特産化推進事業 1,136千円
企業誘致事業 80,603千円 シティプロモーション推進事業 10,498千円（26年度）
プレミアム付商品券補助事業 132,121千円（26年度）
- **公共施設の今後のあり方を検討するとともに、適切な維持管理、延命化を推進します。**
公共施設等総合管理計画策定事業 5,000千円 ごみ焼却施設整備事業（基幹的施設更新工事） 64,022千円
橋梁耐震対策事業 24,000千円 橋梁長寿命化修繕事業 147,000千円 下水道長寿命化対策事業 96,000千円
公立保育所民間活力導入事業 2,952千円

6. 合併特例債事業の概要



(単位：千円)

事業名	平成27年度 事業費	左のうち合併 特例債活用額	平成27年度事業概要	合併特例債活用期間 (予定)
市営斎場整備事業	1,244,617	1,181,900	建築工事	平成24年度～28年度
道路新設改良事業	933,000	496,800	真鍋神林線 工事 田村沖宿線 用地取得・工事	平成18年度～27年度
新消防庁舎整備事業	2,252,114	1,958,800	建築工事	平成24年度～27年度
土浦駅前北地区市街地再開発事業 (新図書館・ギャラリー整備事業)	1,048,275	497,800	建築工事	平成26年度～29年度
朝日トンネル整備事業	—	—		平成19年度～24年度
小町の館整備事業	—	—		平成23年度～25年度
新治運動公園整備事業	—	—		平成23年度～25年度
新治地区公民館建設事業	—	—		平成23年度～25年度
公的医療機関建設支援事業	—	—		平成26年度
合 計	5,478,006	4,135,300		

7. 一般会計歳入の概要



(1) 歳入内訳

(単位：千円，%)

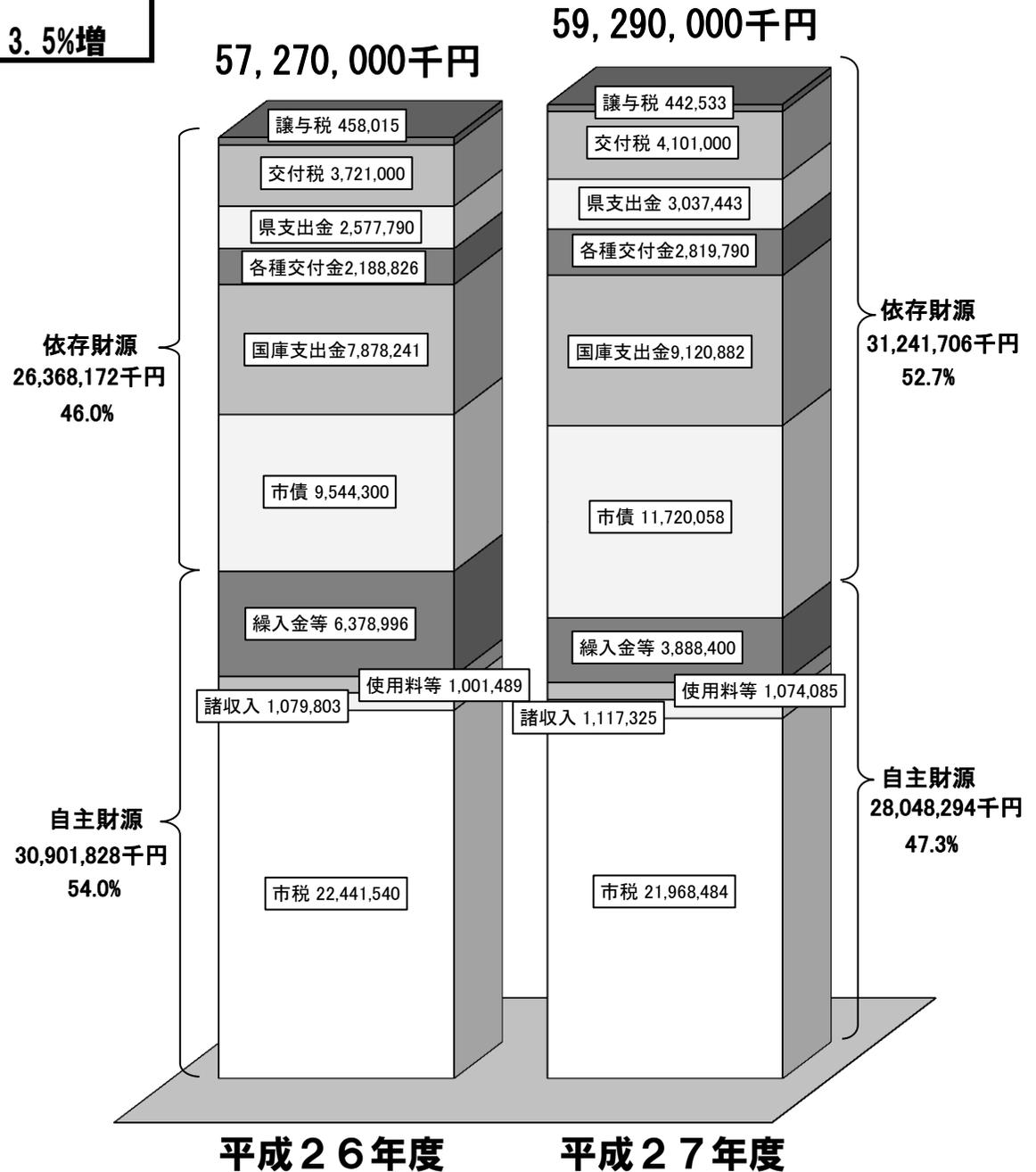
款 別	平成 27 年度		平成 26 年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	伸 率
1 市 税	21,968,484	37.1	22,441,540	39.2	▲ 473,056	▲ 2.1
2 地 方 譲 与 税	442,533	0.8	458,015	0.8	▲ 15,482	▲ 3.4
3 利 子 割 交 付 金	31,967	0.1	41,364	0.1	▲ 9,397	▲ 22.7
4 配 当 割 交 付 金	150,378	0.3	80,016	0.1	70,362	87.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	72,134	0.1	5,559	—	66,575	1,197.6
6 地 方 消 費 税 交 付 金	2,387,839	4.0	1,888,214	3.3	499,625	26.5
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	5,996	—	7,200	—	▲ 1,204	▲ 16.7
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	61,218	0.1	56,533	0.1	4,685	8.3
9 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	15,631	—	10,401	—	5,230	50.3
10 地 方 特 例 交 付 金	68,658	0.1	68,539	0.1	119	0.2
11 地 方 交 付 税	4,101,000	6.9	3,721,000	6.5	380,000	10.2
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	25,969	0.1	31,000	0.1	▲ 5,031	▲ 16.2
13 分 担 金 及 び 負 担 金	676,454	1.1	678,385	1.2	▲ 1,931	▲ 0.3
14 使 用 料 及 び 手 数 料	1,074,085	1.8	1,001,489	1.7	72,596	7.2
15 国 庫 支 出 金	9,120,882	15.4	7,878,241	13.8	1,242,641	15.8
16 県 支 出 金	3,037,443	5.1	2,577,790	4.5	459,653	17.8
17 財 産 収 入	83,747	0.1	77,359	0.1	6,388	8.3
18 寄 付 金	5,002	—	1,002	—	4,000	399.2
19 繰 入 金	2,623,197	4.4	5,622,249	9.8	▲ 2,999,052	▲ 53.3
20 繰 越 金	500,000	0.8	1	—	499,999	49,999,900.0
21 諸 収 入	1,117,325	1.9	1,079,803	1.9	37,522	3.5
22 市 債	11,720,058	19.8	9,544,300	16.7	2,175,758	22.8
歳 入 合 計	59,290,000	100.0	57,270,000	100.0	2,020,000	3.5

(2) 歳入予算の概要

59,290,000千円 対前年度 2,020,000千円 3.5%増

- 大型事業による国庫支出金及び市債の増等により、依存財源が4,873,534千円、18.5%増加
- 自主財源は、土地価格下落の継続や法人税割の税率変更等による市税の減等により、2,853,534千円、9.2%減少し、自主財源と依存財源の割合が逆転
- 総額で、2,020,000千円、3.5%の増加

	対前年度	増減額	増減率
●市税	▲	473,056千円	▲ 2.1%
【増加】		軽自動車税, たばこ税	
【減少】		個人市民税, 法人市民税, 固定資産税, 都市計画税	
●各種交付金		630,964千円	28.8%
【増加】		地方消費税交付金	
●地方交付税		380,000千円	10.2%
【増加】		普通交付税	
●国庫支出金		1,242,641千円	15.8%
【増加】		社会資本整備総合交付金(水郷プール再整備事業, 新図書館整備事業, 亀城モール整備事業)	
【減少】		社会資本整備総合交付金(新庁舎整備事業)(皆減)	
●県支出金		459,653千円	17.8%
【増加】		保育所運営費負担金	
【減少】		県議会議員一般選挙費委託金(皆減)	
●繰入金等	▲	2,490,596千円	▲ 39.0%
【増加】		繰越金, 財政調整基金繰入金(復旧・復興寄付金分含む)	
【減少】		市債管理基金繰入金	
●市債		2,175,758千円	22.8%
【増加】		都和小学校校舎改築事業費債, 新消防庁舎整備事業費債, 新図書館整備事業費債, 市営斎場整備事業費債	
【減少】		借換債, 道路新設改良事業費債	



(3) 市税の状況

(単位：千円、%)

税目	区分	平成27年度			平成26年度			比較			
		調定額	計上率	予算額	調定額	計上率	予算額	調定額	伸率	予算額	伸率
現年度	市民税	10,215,711	97.5	9,958,061	10,391,201	97.5	10,134,073	▲ 175,490	▲ 1.7	▲ 176,012	▲ 1.7
	個人	7,914,970	97.1	7,681,478	8,016,930	97.0	7,776,422	▲ 101,960	▲ 1.3	▲ 94,944	▲ 1.2
	法人	2,300,741	99.0	2,276,583	2,374,271	99.3	2,357,651	▲ 73,530	▲ 3.1	▲ 81,068	▲ 3.4
	固定資産税	8,957,174	96.9	8,676,658	9,174,313	96.7	8,872,917	▲ 217,139	▲ 2.4	▲ 196,259	▲ 2.2
	純固定資産税	8,905,254	96.9	8,624,738	9,123,355	96.7	8,821,959	▲ 218,101	▲ 2.4	▲ 197,221	▲ 2.2
	国有資産等所在市町村交付金	51,920	100.0	51,920	50,958	100.0	50,958	962	1.9	962	1.9
	軽自動車税	262,201	94.5	247,649	239,451	95.0	227,478	22,750	9.5	20,171	8.9
	たばこ税	1,336,027	100.0	1,336,027	1,327,040	100.0	1,327,040	8,987	0.7	8,987	0.7
	特別土地保有税	1	100.0	1	1	100.0	1	-	-	-	-
	都市計画税	1,436,795	96.9	1,391,536	1,473,750	96.7	1,425,116	▲ 36,955	▲ 2.5	▲ 33,580	▲ 2.4
	現年計	22,207,909	97.3	21,609,932	22,605,756	97.3	21,986,625	▲ 397,847	▲ 1.8	▲ 376,693	▲ 1.7
滞納繰越分	市民税	696,928	20.2	140,788	872,218	20.3	176,714	▲ 175,290	▲ 20.1	▲ 35,926	▲ 20.3
	個人	595,102	21.9	130,565	796,316	21.0	167,226	▲ 201,214	▲ 25.3	▲ 36,661	▲ 21.9
	法人	101,826	10.0	10,223	75,902	12.5	9,488	25,924	34.2	736	7.8
	固定資産税	1,131,747	16.0	181,532	1,262,089	18.5	233,486	▲ 130,342	▲ 10.3	▲ 51,954	▲ 22.3
	軽自動車税	41,181	16.5	6,811	40,026	17.0	6,804	1,155	2.9	7	0.1
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	都市計画税	183,421	16.0	29,421	204,924	18.5	37,911	▲ 21,503	▲ 10.5	▲ 8,490	▲ 22.4
	滞納繰越計	2,053,277	17.5	358,552	2,379,257	19.1	454,915	▲ 325,980	▲ 13.7	▲ 96,363	▲ 21.2
合計	24,261,186	90.5	21,968,484	24,985,013	89.8	22,441,540	▲ 723,827	▲ 2.9	▲ 473,056	▲ 2.1	

8. 一般会計歳出の概要



(1) 歳出内訳

(単位：千円，%)

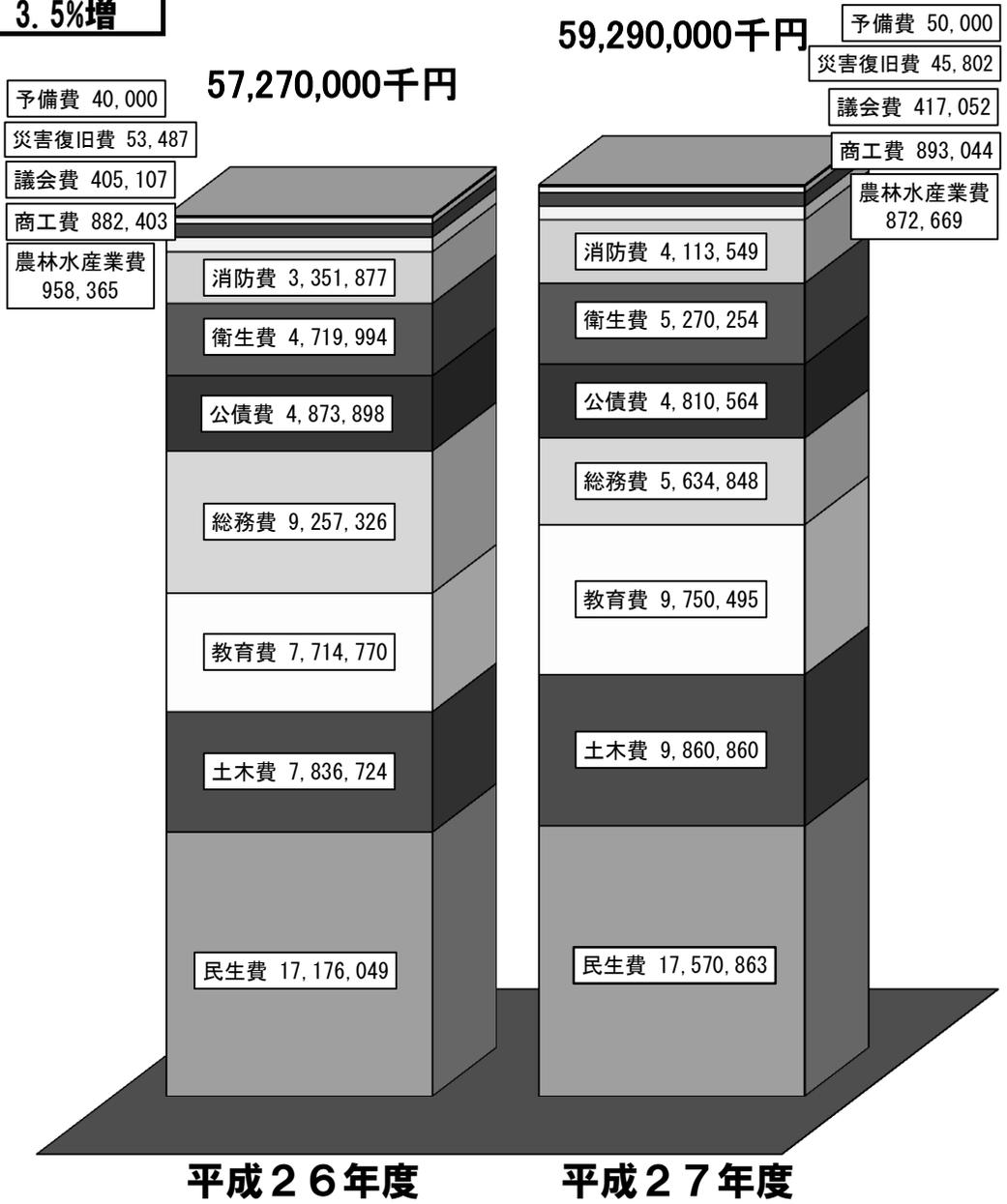
款 別	平成27年度		平成26年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	伸 率
1 議 会 費	417,052	0.7	405,107	0.7	11,945	2.9
2 総 務 費	5,634,848	9.5	9,257,326	16.2	▲ 3,622,478	▲ 39.1
3 民 生 費	17,570,863	29.6	17,176,049	30.0	394,814	2.3
4 衛 生 費	5,270,254	8.9	4,719,994	8.2	550,260	11.7
5 農 林 水 産 業 費	872,669	1.5	958,365	1.7	▲ 85,696	▲ 8.9
6 商 工 費	893,044	1.5	882,403	1.5	10,641	1.2
7 土 木 費	9,860,860	16.6	7,836,724	13.7	2,024,136	25.8
8 消 防 費	4,113,549	6.9	3,351,877	5.8	761,672	22.7
9 教 育 費	9,750,495	16.5	7,714,770	13.5	2,035,725	26.4
10 公 債 費	4,810,564	8.1	4,873,898	8.5	▲ 63,334	▲ 1.3
11 災 害 復 旧 費	45,802	0.1	53,487	0.1	▲ 7,685	▲ 14.4
12 予 備 費	50,000	0.1	40,000	0.1	10,000	25.0
歳 出 合 計	59,290,000	100.0	57,270,000	100.0	2,020,000	3.5

(2) 歳出予算の概要

59,290,000千円 対前年度 2,020,000千円 3.5%増

- 前年度を上回る過去最大の予算規模
- 亀城モール整備事業, 田村沖宿線延伸道路整備事業, 神立駅西口地区土地区画整理事業などの進捗により, 土木費は2,024,136千円, 25.8%の増
- 都和小学校改築事業, 水郷プール再整備事業などにより, 教育費は2,035,725千円, 26.4%の増

	対前年度	増減額	増減率
●総務費		▲ 3,622,478千円	▲ 39.1%
【増加】新庁舎維持管理事業 (皆増)			
【減少】新庁舎整備事業			
●民生費		394,814千円	2.3%
【増加】私立認定こども園運営事業等 (子ども・子育て新制度関連)			
【減少】臨時福祉給付金事業, 子育て世帯臨時特例給付金事業			
●衛生費		550,260千円	11.7%
【増加】ごみ処理対策事業, 市営斎場整備事業			
【減少】各種予防接種事業			
●農林水産業費		▲ 85,696千円	▲ 8.9%
【増加】土地改良区等指導育成事業			
【減少】県営ほ場整備事業 (手野地区)			
●土木費		2,024,136千円	25.8%
【増加】亀城モール整備事業, 田村沖宿線延伸道路整備事業, 神立駅西口地区土地区画整理事業			
【減少】道路新設改良事業			
●消防費		761,672千円	22.7%
【増加】新消防庁舎整備事業			
【減少】常備消防車両更新事業			
●教育費		2,035,725千円	26.4%
【増加】都和小学校校舎改築事業, 水郷プール再整備事業, 新図書館・ギャラリー整備事業 (駅北再開発事業繰出分)			
【減少】小中学校施設耐震化事業			

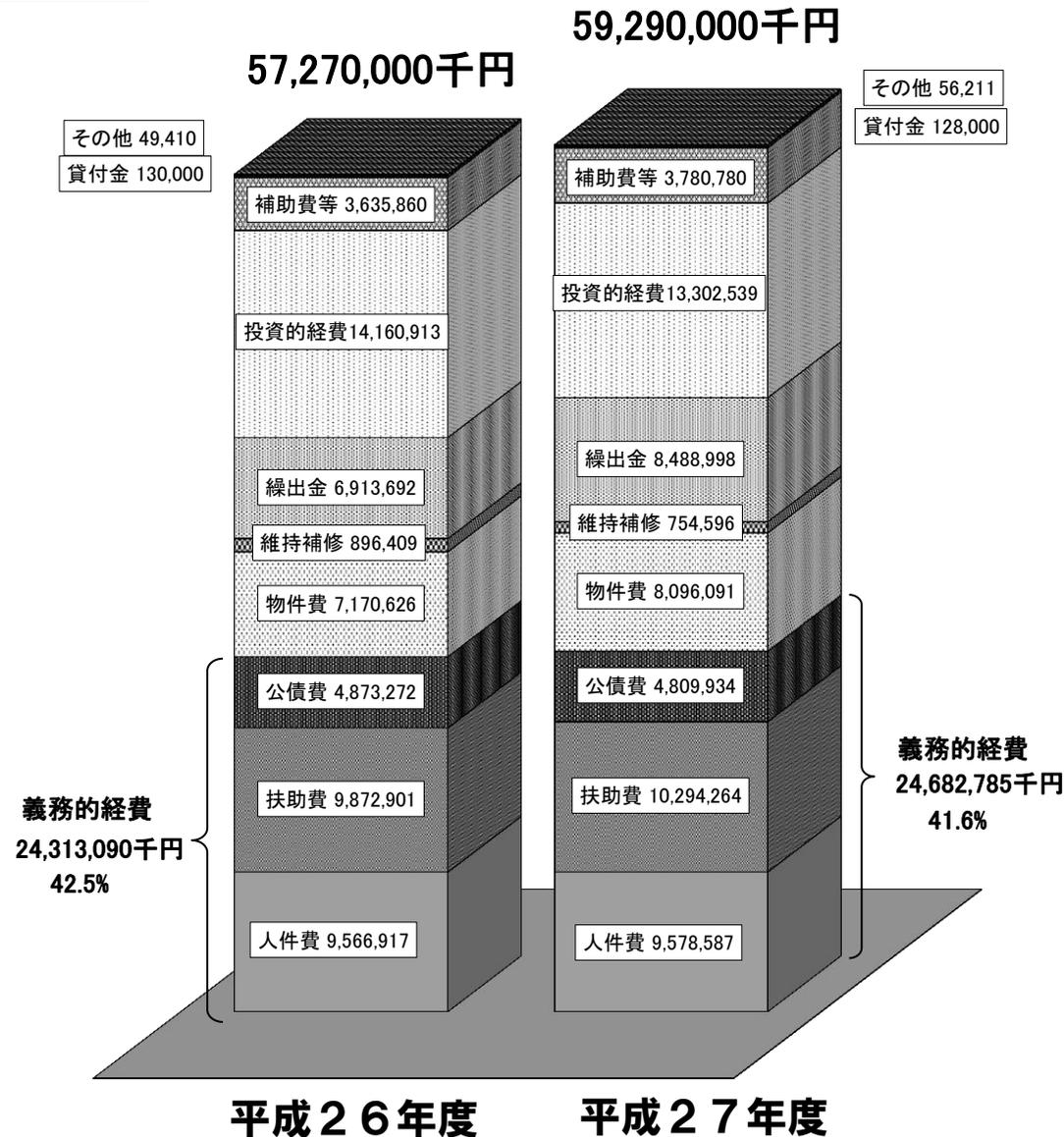


(3) 歳出予算性質別の概要

59,290,000千円 対前年度 2,020,000千円 3.5%増

- 新庁舎整備に係る什器の購入、プラスチック製容器包装・生ごみ分別収集の全市への拡大などにより、物件費は925,465千円、12.9%の増
- 都和小学校改築、新消防庁舎建設などの大型事業を進める一方で、新庁舎整備事業の減により、投資的経費は▲858,374千円、6.1%の減
- 人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費は、扶助費の増により369,695千円、1.5%の増

	対前年度	増減額	増減率
●人件費		11,670千円	0.1%
【増加】	非常勤職員等報酬, 共済組合負担金等		
【減少】	職員給与		
●扶助費		421,363千円	4.3%
【増加】	私立保育園・認定こども園運営事業, 障害者自立支援給付事業		
【減少】	生活保護事業		
●物件費		925,465千円	12.9%
【増加】	新庁舎整備事業, ごみ処理対策事業		
●維持補修費		▲141,813千円	▲15.8%
【減少】	道路維持補修費, 橋梁維持事業		
●繰出金		1,575,306千円	22.8%
【増加】	土浦駅北再開発事業特別会計繰出金		
【減少】	下水道事業特別会計繰出金		
●投資的経費		▲858,374千円	▲6.1%
【増加】	都和小学校校舎改築事業, 新消防庁舎整備事業		
【減少】	新庁舎整備事業		
●補助費等		144,920千円	4.0%
【増加】	公的医療機関高度専門医療体制運営支援事業		
【減少】	臨時福祉給付金事業, 子育て世帯臨時特例給付金事業		

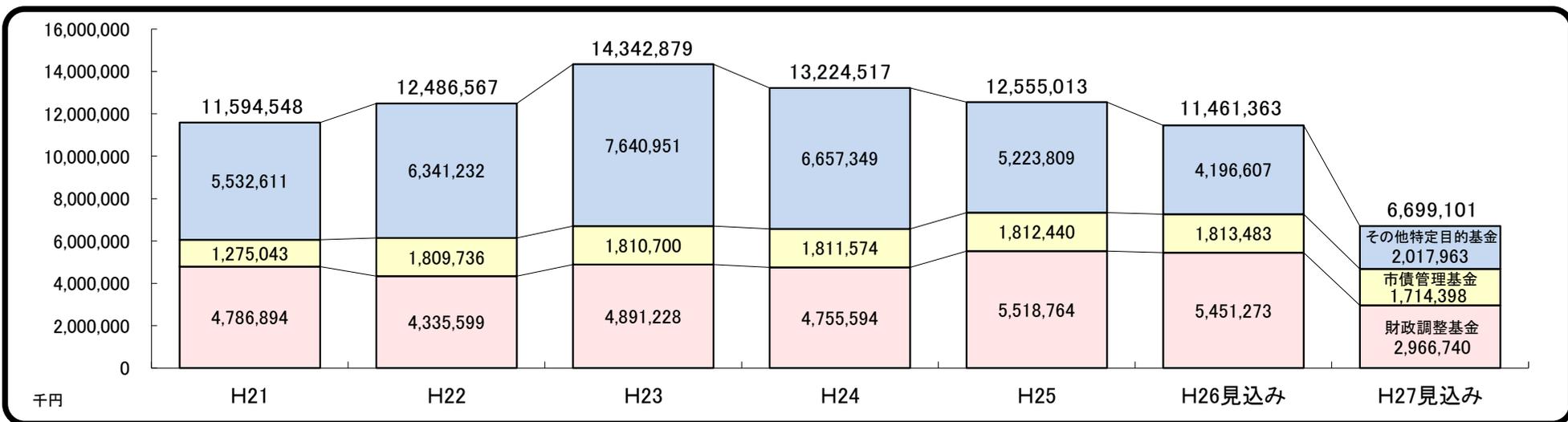


9. 各種基金の状況



(単位:千円)

区 分	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末 見込み A	平成27年度 積立見込額 B	平成27年度 取崩見込額 C	平成27年度末 見込み (A+B-C)
財 政 調 整 基 金	4,891,228	4,755,594	5,518,764	5,451,273	1,500	2,486,033	2,966,740
うち復興まちづくり交付金分	139,000	126,961	21,597	0			0
うち復旧復興寄付金分	122,208	122,231	122,262	101,352	19	101,371	0
うち防災対策交付金分	-	27,883	27,800	0			0
市 債 管 理 基 金	1,810,700	1,811,574	1,812,440	1,813,483	915	100,000	1,714,398
そ の 他 特 定 目 的 基 金	7,640,951	6,657,349	5,223,809	4,196,607	1,395	2,180,039	2,017,963
庁舎建設基金	5,741,210	4,259,568	4,116,828	2,151,520	889	2,152,409	0
公社対策基金	930,921	1,431,638	3,949	3,950	1		3,951
社会福祉事業基金	674,536	677,213	671,681	658,184	161		658,345
文化振興基金	286,895	284,979	263,907	234,332	57	7,182	227,207
奨学基金	7,389	3,951	16,139	12,279	3	3,948	8,334
協働のまちづくり基金	-	-	151,305	136,342	34	16,500	119,876
合併振興基金	-	-	-	1,000,000	250		1,000,250
基 金 総 計	14,342,879	13,224,517	12,555,013	11,461,363	3,810	4,766,072	6,699,101
土 地 開 発 基 金	2,450,229	2,451,416	2,452,931	2,454,462	622,533	621,199	2,455,796
う ち 土 地	657,573	841,193	997,482	678,202	434,185	187,014	925,373
う ち 現 金	1,792,656	1,610,223	1,455,449	1,776,260	188,348	434,185	1,530,423



平成27年度は、財政調整基金を2,486,033千円、庁舎建設基金を2,152,409千円活用し、さらに、公債費負担軽減のため市債管理基金を100,000千円活用します。これにより、平成27年度末の基金総計（土地開発基金を除く）は、6,699,101千円、対前年度4,762,262千円、41.6%の減となる見込みです。

なお、新たに、地域振興を推進するため、合併特例債を活用し合併振興基金を創設します。

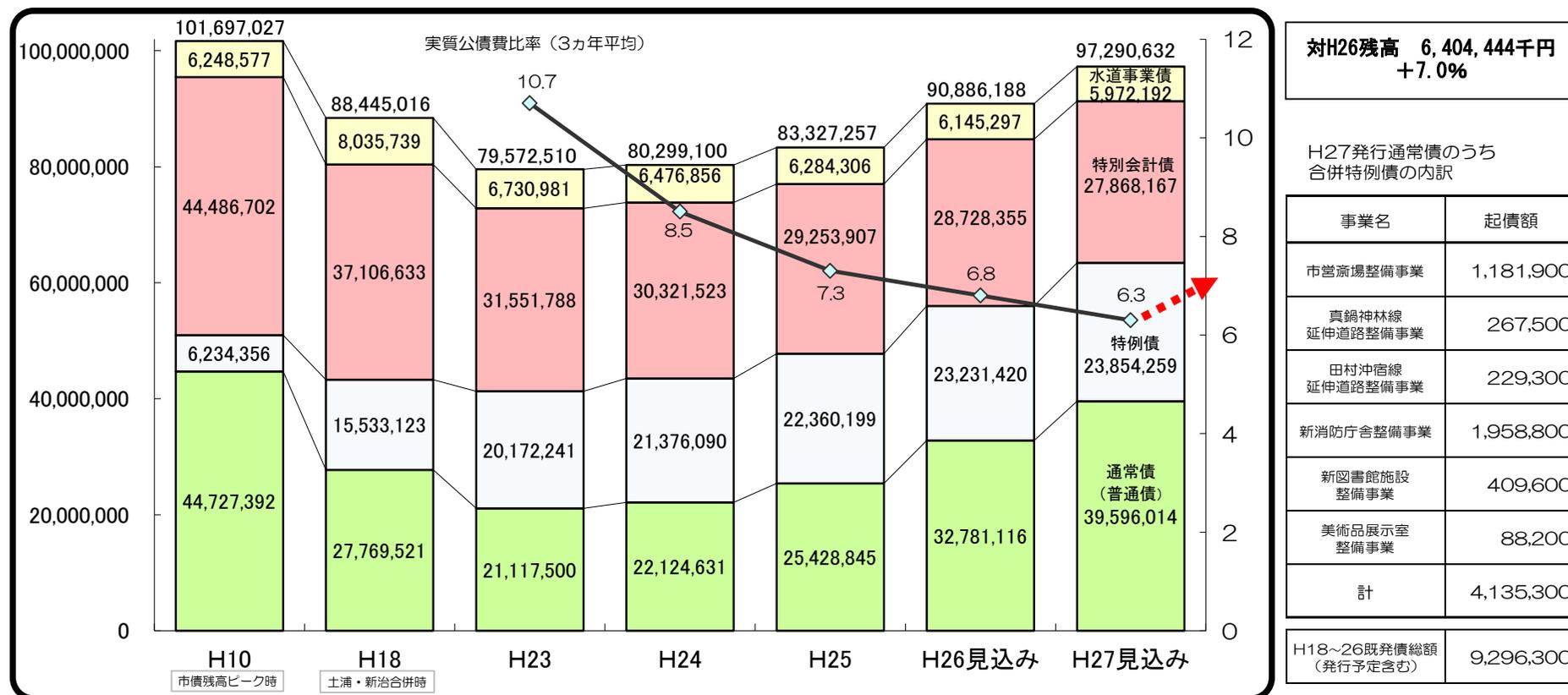
※上記基金には、特別会計基金や用品調達基金を含まない。

10. 市債の状況



(単位: 千円)

区 分	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末 見込み A	平成27年度 発行見込額 B	平成27年度 元金償還見込額 C	平成27年度末 見込み (A+B-C)
1 通常債(普通債)	21,117,500	22,124,631	25,428,845	32,781,116	9,518,758	2,703,860	39,596,014
うち合併特例債	1,349,610	2,837,560	4,157,230	9,222,501	4,135,300	84,382	13,273,419
2 特 例 債	20,172,241	21,376,090	22,360,199	23,231,420	2,201,300	1,578,461	23,854,259
3 特 別 会 計 債	31,551,788	30,321,523	29,253,907	28,728,355	1,778,100	2,638,288	27,868,167
4 水 道 事 業 債	6,730,981	6,476,856	6,284,306	6,145,297	250,000	423,105	5,972,192
市債残高総計	79,572,510	80,299,100	83,327,257	90,886,188	13,748,158	7,343,714	97,290,632



平成27年度は、市営斎場整備事業、新消防庁舎整備事業の合併特例債など、全会計で13,748,158千円の市債を発行する予定です。市債発行額が元金償還額以上となるため、平成27年度末市債残高見込みは97,290,632千円で、平成26年度末見込と比較すると、6,404,444千円、7.0%の増となる見込みです。 ※平成10年度は、旧新治村分を含んだ市債残高です。

主要事業の概要

一般会計

4月1日 水曜日



款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	新庁舎整備事業						
施策の大綱	行財政改革の推進と市民サービスの向上						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
918,752	13,936			904,816	・備品購入費	355,264	
					・負担金補助及び交付金	235,000	
					・委託料	119,761	
					・使用料及び賃借料等	208,727	

【事業の目的】

新しい庁舎を整備することにより、現庁舎の課題となっている分散化・老朽化・狭あい化に対応するとともに、市民サービスのなお一層の向上を図ります。また、中心市街地活性化対策の中核施設として、駅前のにぎわい創出にも寄与します。

【事業の概要】

平成27年度は、庁舎を円滑に移転することにより、市民生活に影響がないよう新庁舎の8月末の工事完了及び9月末の開庁に向けた準備を進めます。

(単位：千円)

名称	事業内容	予算額
新庁舎整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎移転プロジェクトマネジメント委託 ・新庁舎移転運搬委託等 ・新庁舎什器購入等 ・新庁舎設備移転工事 	478,489
新庁舎ネットワーク整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎ネットワーク設定保守委託 ・新庁舎ネットワーク設備工事 	57,552
新庁舎維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・宿直及び清掃業務委託等 ・ウララ管理組合負担金等 ・光熱水費等 	366,711
ウララ3タワーパーキング修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウララ3タワーパーキング修繕工事 	16,000
新庁舎整備事業 (平成26年度繰越分)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎整備工事 ・ウララ広場大屋根設置工事 ・新庁舎整備工事及びウララ広場大屋根設置工事監理委託 	3,106,905



外観イメージ

【期待される効果】

公共交通の結節点である駅前に庁舎を移転することにより、市民の利便性や市民サービスの更なる向上が図られます。また、防災機能、商業機能、市民交流機能を併せて整備することにより、中心市街地活性化の中核となる施設として持続可能なまちづくりに寄与します。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	ジオパーク推進事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳						予算の概要	
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
5,868	5,000			868	・委託料	3,000		
H26補正 (5,188)	(5,000)			(188)	・需用費	1,001		
					・報償費	775		
					・旅費等	1,092		

【事業の目的】

筑波山・霞ヶ浦周辺地域には、「山、川、湖」といった多様な地形とそこに息づく生態系、その中で築かれた歴史や文化という貴重な地域資源があります。これらを近隣自治体と連携して一体的に保全し、その価値を地域住民とともに共有し、後世に守り伝えていく活動を通して、地域の持続可能な発展を図ります。併せて、これらの資源を観光事業に活用することにより、地域振興に寄与します。

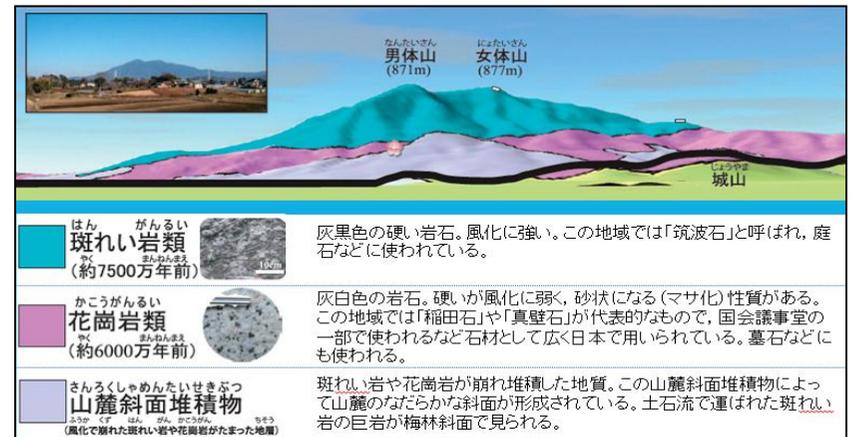
【事業の概要】

- ◎ジオパーク活動の普及啓発
横断幕、のぼり設置による周知
住民説明会の実施
 - ◎ジオパークに関する教育普及活動
市内イベントにおける地質図砂絵のブース出展
ジオパークパネル展の開催
講演会の開催
 - ◎新たなジオサイトの調査
 - ◎土浦市のジオパーク推進構想及びジオストーリーの策定
 - ◎モニターツアーの実施
- ※本事業については、国の平成26年度補正予算に係る臨時交付金を活用

【期待される効果】

ジオパーク活動を通して、筑波山と霞ヶ浦のブランド力がこれまで以上に向上し、地域のイメージアップにつながります。また、周辺地域と連携し、筑波山や霞ヶ浦周辺の観光資源をネットワーク化することで、更なる地域の魅力向上や地域振興を図ります。

さらには、ジオパークを地域での教育活動に取り入れることで、郷土愛や地域への愛着心を育むことが期待でき、地形的特徴を知ることにより、災害についての理解も深まります。



筑波山の地質図（独法）産業技術総合研究所 地質標本館作成）

款	総務費	項	総務管理	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	------	------	----	----	----	---------

事業名	シティプロモーション推進事業						
施策の大綱	市民と行政が一体となった協働のまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
10,498	10,172			326	・委託料	9,466	
H26補正 (10,498)	(10,172)			(326)	・報償費	695	
					・旅費	187	
					・需用費等	150	

【事業の目的】

「土浦の魅力・強み」を活かしたまちづくりとして、土浦の様々な魅力を認識、増進させ、その魅力を戦略的かつ効果的に発信する「シティプロモーション」を推進し、市民の郷土に対する愛着や誇りを高め、土浦に来ていただく「交流人口」、土浦で活動していただく「活動人口」、土浦に住み続ける「定住人口」の増加を図ります。

【事業の概要】

- ◎「土浦市シティプロモーション戦略プラン」の策定
 - ・学識経験者や市民等からなる委員会の設置
- ◎シティプロモーション推進体制の整備
 - ・つちうらシティプロモーションワーキングチームの設置
 - ・シティプロモーション専用ホームページの開設
 - ・シティプロモーションマガジンの刊行

※本事業については、国の平成26年度補正予算に係る臨時交付金を活用



【期待される効果】

「シティプロモーション」により土浦の魅力を戦略的かつ効果的に発信していくことで、土浦の認知度や好感度の向上、来訪者数の増加、新たな活力の創出といった効果が期待でき、土浦に対するブランド意識が高まることで、市民の愛郷心が更に向上するという相乗効果につなげることができます。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	ふるさと土浦応援寄付事業							
施策の大綱	市民と行政が一体となった協働のまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
3,150				3,150	・委託料 3,150			

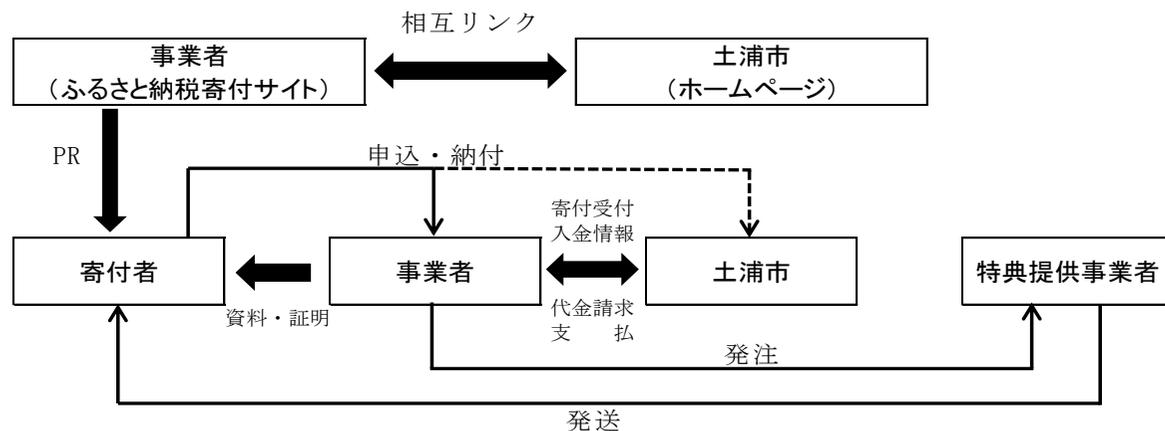
【事業の目的】

ふるさと納税では、税制改正に伴う特例控除の上限が拡充されることから、今後、寄付者や寄付金額の増加が見込まれます。本市においても、「ふるさと土浦応援寄付」をいただいた方に、地元の特産品を特典として送ることで、寄付の件数と金額を増やすとともに、地場産品を広くPRします。

【事業の概要】

◎ふるさと土浦応援寄付代行

寄付者の利便性の向上と業務の効率化を図るため、ふるさと納税や土浦のPR、特典商品管理、寄付の受付や収納などの業務を一括して委託します。



[委託内容]

プロモーション	① 企画・立案
	② ホームページの作成
	③ Webプロモーション
特典商品	④ 特典商品の開発
	⑤ 事業者の対応
	⑥ 特典の発注及び管理
事務業務	⑦ 寄付申し込みの受付
	⑧ 寄付金の収納
	⑨ クレジット決済システムの導入
	⑩ 寄付証明書の作成・送付
	⑪ PR物の作成・送付
	⑫ レポート提出

【期待される効果】

寄付がしやすい環境の整備により本市の財源確保に寄与します。また、地元特産品を特典とすることで、新たな販路拡大など地域の活性化につなげることができます。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	公的医療機関高度専門医療体制運営支援事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
100,000				100,000	・負担金補助及び交付金 100,000			

【事業の目的】

公的医療機関である土浦協同病院において、高度医療の適切な提供を確保することにより、本市の保健医療の向上、地域医療の充実、救急医療体制の充実及び医療水準の向上を図ります。

【事業の概要】

移転新築する土浦協同病院において、開設初年度に最新型の高度専門医療機器を新規に導入する予定であることから、導入費用の一部を今後10年間にわたり、補助金として交付します。

◎土浦協同病院移転新築工事の概要

- ・移転予定 平成28年3月
- ・敷地面積 108,265.33㎡
- ・建築面積 19,920.99㎡(総建築面積)
- ・延床面積 78,603.71㎡(総延床面積)
- ・施設概要 病院本館棟 R C造+鉄骨造(免震)地上10階
- ・附属施設 放射線治療棟 R C造 地上1階
エネルギー棟 R C造 地上4階

※平成28年度からは、補助金の財源として、合併特例債を原資として造成する合併振興基金を活用します。



新病院完成予想図（土浦協同病院提供）

【期待される効果】

新病院では、施設や診療体制及び医療体制が充実するとともに医療水準が向上することから、市民の更なる保健福祉の増進に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	男女共同参画センター事業／第3次土浦市男女共同参画推進計画後期計画策定事業							
施策の大綱	市民と行政が一体となった協働のまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
3,203	1,000			2,203	・委託料	1,800		
H26補正 (1,000)	(1,000)				・報償費	660		
					・使用料及び賃借料等	377		
					・報酬等	366		

【事業の目的】

人口減少社会の中で、女性が輝く社会の実現を目指し、女性を取り巻く諸問題の解決と男女共同参画社会の実現を図ることを目的とします。

【事業の概要】

◎男女共同参画講演会の実施

平成23年に「土浦市男女共同参画推進条例」を制定し、平成24年には「男女共同参画都市宣言」を行いました。平成27年度は、更なる男女共同参画意識の普及と啓発を図るため、講演会を実施します。

- ・開催時期 平成27年度実施予定（新庁舎移転のため時期未定）

※講演会の経費については、国の平成26年度補正予算に係る臨時交付金を活用

◎男女共同参画後期計画の策定

第3次土浦市男女共同参画推進計画の前期計画が平成27年度に終了することから、平成26年度に実施した市民意識調査の分析結果や社会情勢の変化等を踏まえて、後期計画を策定します。

- (1) 委託内容 男女共同参画市民意識調査の分析及び後期計画書作成
- (2) 計画期間 平成28～32年度までの5年間（後期計画）



平成26年度 男女共同参画講演会

【期待される効果】

多様な生き方を尊重し、全ての人々が職場、地域、家庭などあらゆる場面で活躍できる男女共同参画社会づくり及びワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれた社会の実現に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	第5次行財政改革大綱策定事業							
施策の大綱	行財政改革の推進と市民サービスの向上							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
304				304	・報償費		300	
					・需用費		4	

【事業の目的】

人口減少社会や大規模事業進捗による厳しい財政状況，老朽化した公共施設等への対応等，簡素で効率的な行財政システムの確立を推進するため，第5次行財政改革大綱の策定を行い，行財政改革を着実に実施します。

【事業の概要】

「第4次土浦市行財政改革大綱」の計画期間が平成27年度で終了となることから，市民，有識者で構成する行財政改革推進委員会において，「第4次行財政改革大綱」の成果や課題等を継承し，国・県の動向や市を取り巻く環境に対応した新たな視点を加えた「第5次行財政改革大綱」を策定します。

(計画期間 平成28～32年度)

【期待される効果】

新たな行財政改革大綱とそれに伴う実施計画を策定し，計画に基づき改革を推進することにより，更なる市民サービスの向上を図ります。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	公共施設等総合管理計画策定事業							
施策の大綱	行財政改革の推進と市民サービスの向上							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
5,000				5,000	・委託料 5,000			

【事業の目的】

厳しい財政状況が続く中、今後の人口減少社会を見据えた上で、老朽化した公共施設等のあり方を踏まえた公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うため、公共施設等総合管理計画を策定し、適切な公共施設管理を実施していきます。

【事業の概要】

道路・橋梁や下水道等のインフラを含む全ての公共施設等において、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うため、総合的かつ計画的に管理するための基本方針となる公共施設等総合管理計画の策定に向けて、平成27年度は、課題の整理やライフサイクルコスト等の算出・分析・評価のための基礎調査を実施します。

平成27年度	公共施設等総合管理計画作成支援業務委託 ・施設別行政コストの算出 ・施設別ライフサイクルコストの算出・分析 ・将来財政シミュレーションの実施 ・地方公会計（固定資産台帳）との連携 ・公共施設等総合管理計画（素案）の検討
平成28年度	・方針策定に向けて学識経験者や市民等で構成する委員会を設置 ・総合管理計画の策定

【期待される効果】

公共施設等総合管理計画を策定し、効率的・効果的な施設管理を図りながら計画的に公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を推進することにより、将来にわたる継続的な公共サービスの提供に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費・戸籍住民基本台帳費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-----------------	------	----	----	----	---------

事業名	個人番号制度導入システム整備事業／個人番号カード交付事業／証明書コンビニ交付事業						
施策の大綱	行財政改革の推進と市民サービスの向上						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
66,678	63,114			3,564	・負担金補助及び交付金	58,514	
					・委託料	8,090	
					・需用費等	74	

【事業の目的】

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴い、関連する既存システムの改修及び中間サーバー連携システムの構築を行います。また、個人番号カードの交付を希望する市民に、平成28年1月から同カードを交付するとともに、同年4月に開始予定の証明書等のコンビニ交付に向けた準備を行います。

【事業の概要】

(1)個人番号制度システム整備事業

- 改修対象システム
住民基本台帳システム，地方税務システム，中間サーバー，団体内宛名システム，障害者福祉システム，児童福祉システム，国民健康保険システム，後期高齢者医療システム，介護保険システム，健康管理システム，国民年金システム

(3)証明書コンビニ交付事業

個人番号カードによりコンビニで各種証明書を取得できるよう、準備を行います。

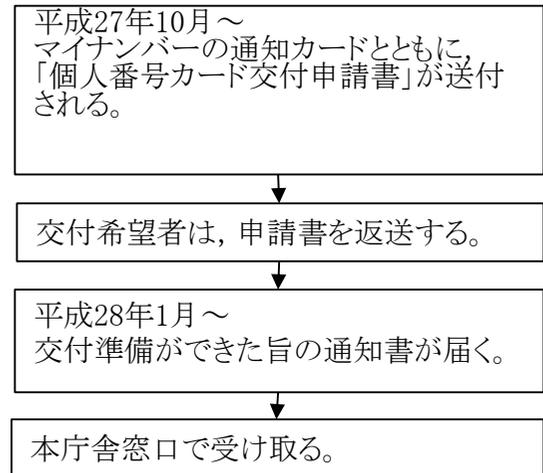
- 開始予定時期 平成28年4月
- 利用予定時間 午前6時30分～午後11時
(12月29日～1月3日を除く。)
- 取得できる証明書等 住民票の写し，印鑑登録証明書，税証明書

(2)個人番号カード交付事業



個人番号カード
(上：表面，下：裏面)

個人番号カード交付の流れ



【期待される効果】

個人番号カードは、顔写真付きのICカードで本人確認の手段として利用できるほか、各種行政手続のオンライン申請や各種証明書のコンビニ交付が利用できるようになり、市民の利便性向上や行政の効率化が期待できます。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	地域公民館整備事業							
施策の大綱	行財政改革の推進と市民サービスの向上							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
82,240				82,240	・負担金補助及び交付金 82,240			

【事業の目的】

町内会（自治会）住民の地域活動や交流の拠点となる地域コミュニティ施設の新築等に要する経費の補助を行うことにより、地域住民の連帯感及びコミュニティ意識の高揚を図ります。

【事業の概要】

◎ 新築

(単位：千円, m²)

公民館名称	補助金額	延床面積	構造
文京町公民館	20,000	148.22	木造平屋建て
仲の杜公民館	20,000	203.43	木造平屋建て
西根南一丁目児童公民館	16,080	149.87	木造平屋建て
中村南五丁目公民館	20,000	262.51	木造平屋建て

◎ 修繕

(単位：千円)

公民館名称	補助金額	修繕箇所
西根一区公民館	1,160	外壁塗装・修繕, 玄関・廊下壁修繕, 大広間天井修繕
まりやま新町自治会館	5,000	屋根・外壁修繕, クロス・床張替え, 天井新設, トイレ修繕, 畳表替え

【期待される効果】

地域公民館を拠点として、地域の連帯感及びコミュニティ意識が醸成され、更なる地域コミュニティの活性化に寄与します。

款	総務費・土木費	項	総務管理費・都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	---------	---	-------------	------	----	----	----	---------

事業名	協働のまちづくりファンド事業							
施策の大綱	市民と行政が一体となった協働のまちづくり/産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
16,725			16,500	225	・負担金補助及び交付金	16,500	・報償費	135
					・需用費	67	・旅費等	23

【事業の目的】

「土浦市協働のまちづくり基金」を活用し、市民団体等が自主的に行うまちづくり活動に対して補助することにより、魅力的で個性豊かな活力ある地域社会の実現を目指します。

【事業の概要】

(1) 市民提案事業※

◎ソフト事業（平成27年度から開始）

・助成対象事業及び補助の内容

コミュニティの活性化や地域課題を解決するため、市民自らが実践する新たなまちづくり活動となる事業

1年目 上限300千円 補助率3/4

2年目 上限200千円 補助率1/2

・対象団体 NPO法人、ボランティア団体等の市民活動団体

◎ハード事業（平成26年度から継続）

・助成対象事業及び補助の内容

市民団体の提案する公共性や公益性の高い事業

上限5,000千円 補助率4/5

※市民提案事業は、「協働のまちづくりファンド運営委員会」において審査が行われます。

【期待される効果】

自主的・主体的な市民活動の活性化により、本市固有の歴史景観の維持保全と、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に寄与します。

(2) 景観形成事業 予算額10,000千円

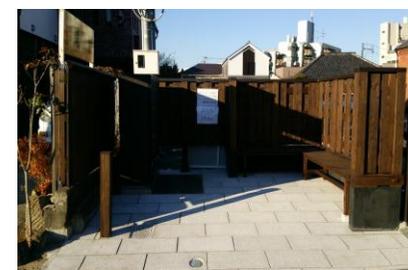
「旧城下町とその周辺地区」及び「JR土浦駅周辺地区」の表通りにおいて、歴史的建造物等の保存や修景を行う。

- ・景観重要建造物 上限5,000千円 補助率2/3
- ・中城通り地区の建築物 上限3,000千円 補助率2/3
- ・上記以外の建築物 上限1,500千円 補助率1/2
- ・外構等 上限1,000千円 補助率1/2



市民提案事業（ハード事業）

通りに愛称名を付し、看板を設置することで、親しみと愛着のあるまちづくりにつながっています。



景観形成事業

天然素材を活用しながら、歴史ある通りの景観になじむ色彩・デザインで設置されたポケットパーク

（活用事例）平成26年度に基金を受けて実施された事業

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	防犯対策事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
70,634	32,000		780	37,854	・負担金補助及び交付金	68,190		
H26補正 (32,000)	(32,000)				・備品購入費	1,664		
					・工事請負費	780		

【事業の目的】

市や市民及び事業者，土地建物所有者等が一体となって地域における犯罪を未然に防止するため，それぞれの責務を明らかにするとともに，自主的な防犯活動を推進し，及び安全な生活環境を整備することにより，安心で安全な住みよい地域社会の実現を図ります。

【事業の概要】

(単位：千円)

事業名	事業概要等	予算額		
防犯灯設置等補助事業	L E D防犯灯への補助を充実し，L E D防犯灯への移行を推進することで，町内会等及び本市の防犯灯に係る電気料金等の負担軽減を図ります。	68,190 (32,000)		
	補助対象		区分	補助限度額 (1基当たり)
	設置事業 (新設)		L E D防犯灯	30,000円
			防犯灯	25,000円
維持事業 (交換)	L E D防犯灯	20,000円		
	防犯灯	10,000円		
防犯カメラ設置事業	駅前など不特定多数の人が利用する公共の場所に防犯カメラを設置し，犯罪等の発生抑止を図ります。 ・カメラ設置予定箇所 荒川沖東一丁目跨線橋下，荒川沖駅西口 ・カメラ設置予定基数 各1基 (合計2基)	1,664		
空き家等対策事業	管理不全となった空き家等について，応急措置を実施します。 ・応急措置検討箇所 4か所	780		

※防犯灯設置等補助経費の一部については，国の平成26年度補正予算に係る臨時交付金を活用

【期待される効果】

各事業を実施することにより，安心・安全なまちづくりの推進に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	地域防災対策整備事業						
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
31,090		15,200		15,890	・負担金補助及び交付金	25,143	
					・需用費	3,000	
					・委託料	2,947	

【事業の目的】

東日本大震災や近年多発する異常気象による災害を教訓とし，市民の生命・身体及び財産を災害から保護するとともに，予想される首都直下地震等の災害に備えて，防災・減災対策を引き続き進めます。

【事業の概要】

◎県防災ネットワークシステム更新整備

現行システムをデジタル方式の最新機種に更新します。

予算額：15,243千円

◎新治地区防災無線更新整備

老朽化した新治地区防災無線の更新整備を図るため，本年度電波の送受信調査を行います。

予算額：847千円



◎防災井戸整備補助

公民館等に防災用の井戸を整備する町内会に，補助金を交付します。

補助率：10/10

限度額：1,000千円/件

予算額：9,900千円



◎非常食・ペットボトル飲料水備蓄

予算額：3,000千円

◎中学校防災井戸浄水装置保守点検

予算額：2,100千円

【期待される効果】

一人ひとりが災害を意識することはもとより，協働で防災・減災対策に取り組むことによって，地域コミュニティの醸成や安心・安全のまちづくりの推進が期待されます。

款	民生費	項	社会福祉費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	障害者社会参加活動支援事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
3,148				3,148	・委託料 3,148			

【事業の目的】

障害者の手作り品を展示・即売することにより、障害に対する市民の理解を深めるとともに、障害者自身の能力を高め、就労に向けた訓練や社会参加に関する支援、地域交流の実践を図ります。

【事業の概要】

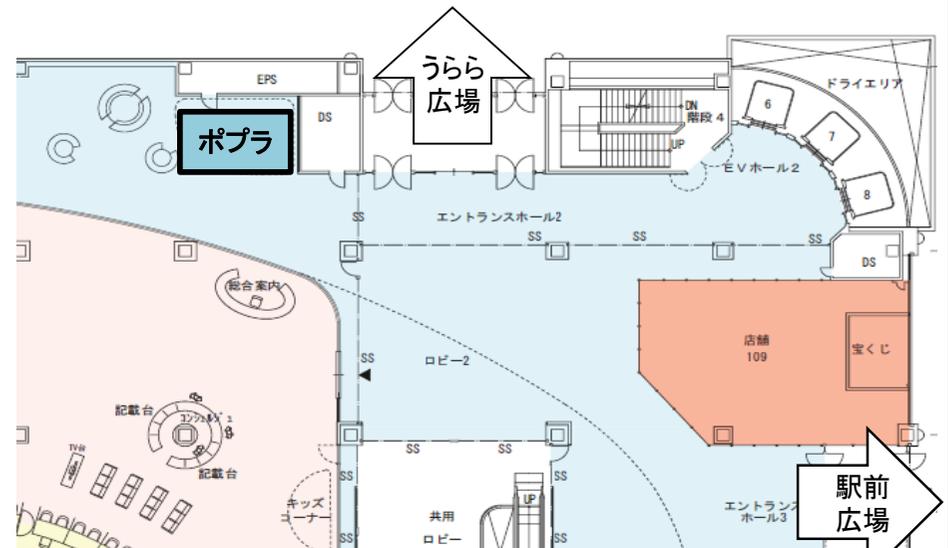
平成27年度の新庁舎移転に合わせて、ウララ2ビル4階にある福祉の店ポプラを、より集客力のある新庁舎へ移設することにより、障害者自らが作成した授産品等の販売場所を確保し、障害者の創作活動支援と授産品売上の増加による障害者の収入の確保を図ります。また、新庁舎へ移設することにより来客数が増えると予想されることから、障害者の雇用促進を図り、障害者を移設後の店舗に配置します。

◎新庁舎移設後の営業日及び営業時間（予定）

- ・営業日 年中無休（12月29日～翌年の1月3日を除く。）
- ・営業時間 午前9時～午後7時

【期待される効果】

より集客力のある新庁舎へ移設することにより、授産品等の売上げの増加が期待できます。また、障害者を雇用することにより、就労支援及び社会参加活動など地域市民等との交流を促進します。



「福祉の店ポプラ」設置箇所（新庁舎 1階）

款	民生費	項	社会福祉費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	日常生活用具給付事業				
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
320	160			160	・扶助費 320

【事業の目的】

市内に居住する、小児慢性特定疾患児に対して、便器、特殊マット、特殊便器、特殊寝台等の日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図ります。

【事業の概要】

小児慢性特定疾患の対象疾病は、悪性新生物や慢性腎疾患群等、14疾患群（705疾患）となっています。市内に居住する小児慢性特定疾患医療受診券の交付を受けている方は、108人です。（平成26年12月現在）扶養義務者の収入に応じて、自己負担があります。

[小児慢性特定疾患児日常生活用具給付品目]

給付対象品目		
(1) 便器	(6) 入浴補助用具	(11) 電気式たん吸引器
(2) 特殊マット	(7) 特殊尿器	(12) クールベスト
(3) 特殊便器	(8) 体位変換器	(13) 紫外線カットクリーム
(4) 特殊寝台	(9) 車いす(電動以外の場合)	(14) ネブライザー(吸入器)
(5) 歩行支援用具(手すり、スロープ、歩行器等)	(10) 頭部保護帽	(15) パルスオキシメーター

(茨城県小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業費補助金交付要項基準による。)

【期待される効果】

日常生活用具を給付することにより、小児慢性特定疾患児の日常生活の便宜を図り、社会参加の促進等に寄与します。

款	民生費	項	社会福祉費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	高齢者移送サービス事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	・扶助費 13,400			
13,400				13,400				

【事業の目的】

自家用車や公共交通による移動手段の確保が困難な高齢者に対して、デマンド型福祉交通「のりあいタクシー土浦」の年会費の一部を助成することにより、通院、買い物、趣味活動等の移動を支援します。

【事業の概要】

のりあいタクシーの利用者に対して、年会費の一部を助成します。□
 なお、運転免許返納者で、のりあいタクシーの会員に初めてなる高齢者の方に□
 対しては、初年度の年会費を全額助成することで、更なる利用促進を図ります。

- ・年会費：13,000円（市助成額11,000円，自己負担2,000円） □
- ・利用料：1回につき片道600円□
 （神立・新治地区 ⇄ 荒川沖地区は、別途600円）□
- ・免許返納者への年会費助成：年会費13,000円を助成□

[予算の内訳]□

- ・のりあいタクシー年会費助成 13,200千円□
- ・免許返納者への初年度年会費の自己負担分の助成 200千円



のりあいタクシー土浦

【期待される効果】

低廉な費用負担で、移動手段が確保されることで、高齢者が外出する機会が増加し、閉籠りの防止につながります。また、「のりあいタクシー土浦」の利用を促進することにより、デマンド型福祉交通が、公共交通空白地域における移動手段となることが期待できます。

款	民生費	項	社会福祉費	事業区分	(新規)	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	認知症施策推進事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した，人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
1,078				1,078	・報償費	546		
					・使用料及び賃借料	476		
					・旅費	49		
					・需用費	7		

【事業の目的】

認知症になっても本人の意志が尊重され，できる限り住み慣れた地域で暮らしていけるよう，必要な医療や介護，日常生活における支援など適切なサービスが提供される体制整備を行うとともに，認知症の方やその家族を地域ぐるみで支援する体制を構築します。

【事業の概要】

(1) 認知症施策推進協議会の設置

- ・医療，介護等の関係者を集めた推進協議会を設置し，認知症ケアパス，認知症初期集中支援チーム等の体制整備を検討します。

(2) 認知症地域支援推進員の養成

- ・認知症地域推進員資格取得のための研修をします。

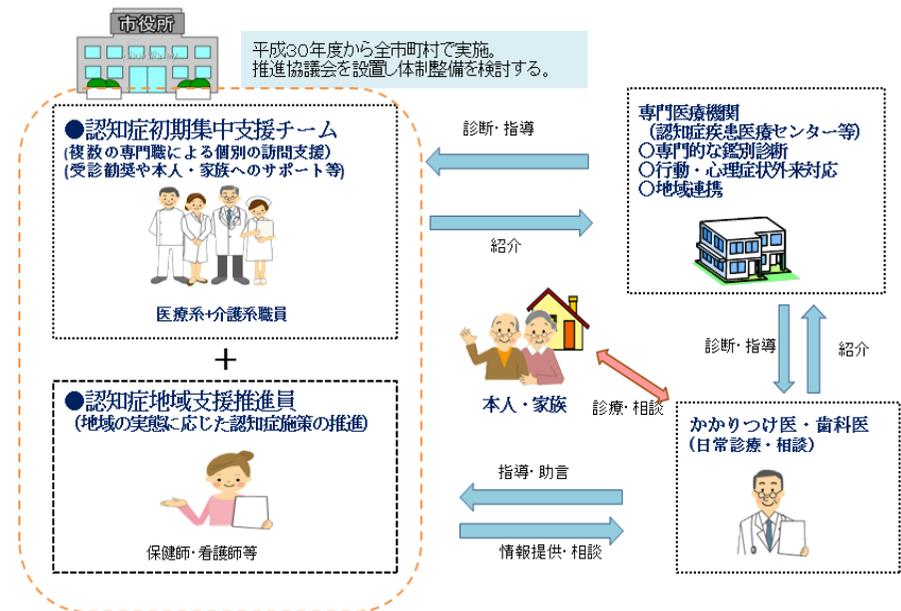
(3) 地域による見守り支援体制の構築

- ・認知症に関する関係職員研修を行うとともに，認知症サポーターを養成します。また，認知症カフェ等，認知症の方が集える場の先進地視察を行います。

【期待される効果】

医療機関，介護サービス事業所が連携して認知症の方やその家族を支援する体制を整えることができ，認知症の専門的な相談が早期に受けることが可能となります。

【認知症初期集中支援チームと認知症地域支援推進員：イメージ図】



款	民生費	項	社会福祉費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	生活困窮者自立支援事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
27,816	20,862			6,954	・委託料	22,364		
					・負担金補助及び交付金	5,056		
					・職員手当等	396		
【事業の目的】								
<p>自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給など、生活困窮者（現に経済的に困窮し、最低限の生活を維持することができなくなるおそれのある者）に対し、自立の支援に関する措置を講ずることにより、生活困窮者の自立の促進を図ります。</p>								
【事業の概要】								
<p>◎自立相談支援事業</p> <p>生活困窮者からの相談を受け、対象者の抱える課題に応じて「ワンストップ型」の相談支援に取り組みます。</p> <p>①生活困窮者の抱えている課題を評価・分析（アセスメント）し、そのニーズを把握</p> <p>②ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう、自立支援計画を策定</p> <p>③自立支援計画に基づき、支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整</p>								
<p>◎住居確保給付金</p> <p>離職者で住居を喪失している者、または、喪失するおそれのある者のうち、一定の要件に該当する生活困窮者に対して、家賃相当の給付金を支給します。</p> <p>①支給限度額：1人世帯 35,400円/月2人以上の世帯 46,000円/月</p> <p>②支給期間：3か月（ただし、一定の条件を満たした場合には、最大9か月間受給することができます。）</p>								
【期待される効果】								
<p>生活保護に至る前の段階から支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期脱却を図ることができ、生活保護費の削減にもつながります。また、相談支援機能の充実により、生活保護受給者以外の生活困窮者に対する新たなセーフティネットとなります。</p>								

款	民生費	項	児童福祉費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	ひとり親・多子世帯ファミサポ利用支援事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した，人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
4,056	1,332			2,724	・委託料 4,056			

【事業の目的】

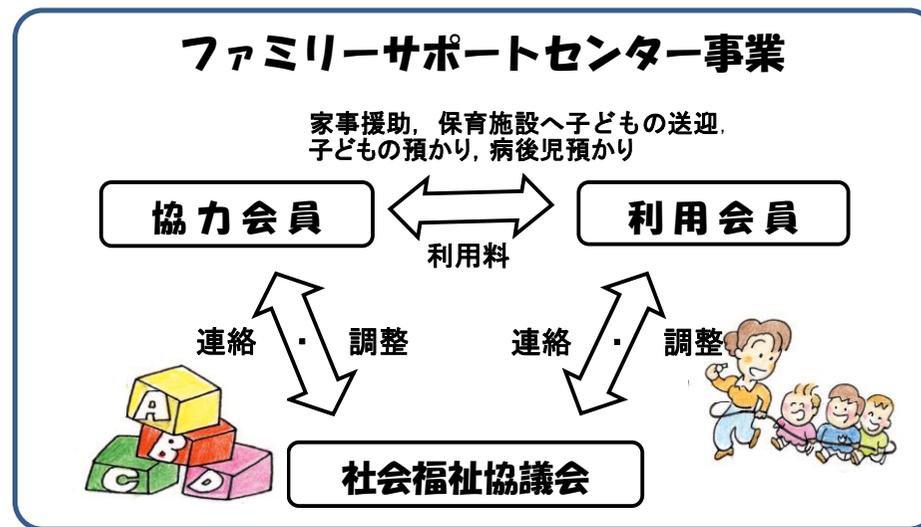
土浦市社会福祉協議会が行うファミリーサポートセンター事業（産前・産後の家事援助や保育施設への子どもの送迎，病後児預かりなど）を拡充し，ひとり親や多子世帯の保護者に対する助成を行うことにより，子育て世帯の負担軽減と本事業の利用促進を図り，子育てしやすい環境を創出します。

【事業の概要】

内容：児童扶養手当所得制限限度額以下の世帯に対し，ファミリーサポートセンターの利用料の2分の1を助成します。

対象：ひとり親（父子，母子）世帯の保護者
多子世帯（児童が3人以上いる世帯）の保護者

- ①通常利用……………1回の利用上限2時間
- ②病後児預かり…1回の利用上限8時間
- ※ただし，①，②を合わせて，年間80時間を上限とします。



【期待される効果】

ファミリーサポートセンターの利用料の一部を助成することにより，ひとり親世帯や多子世帯の保護者が本事業を利用しやすくなり，ワークライフバランスの推進とともに，子育て世帯の経済的及び精神的負担の軽減を図ることができます。

款	民生費	項	児童福祉費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	子ども・子育て支援事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
812,749	488,479			324,270	・扶助費	785,666		
					・負担金補助及び交付金等	24,667		
					・報酬	2,100		
					・需用費	316		

【事業の目的】

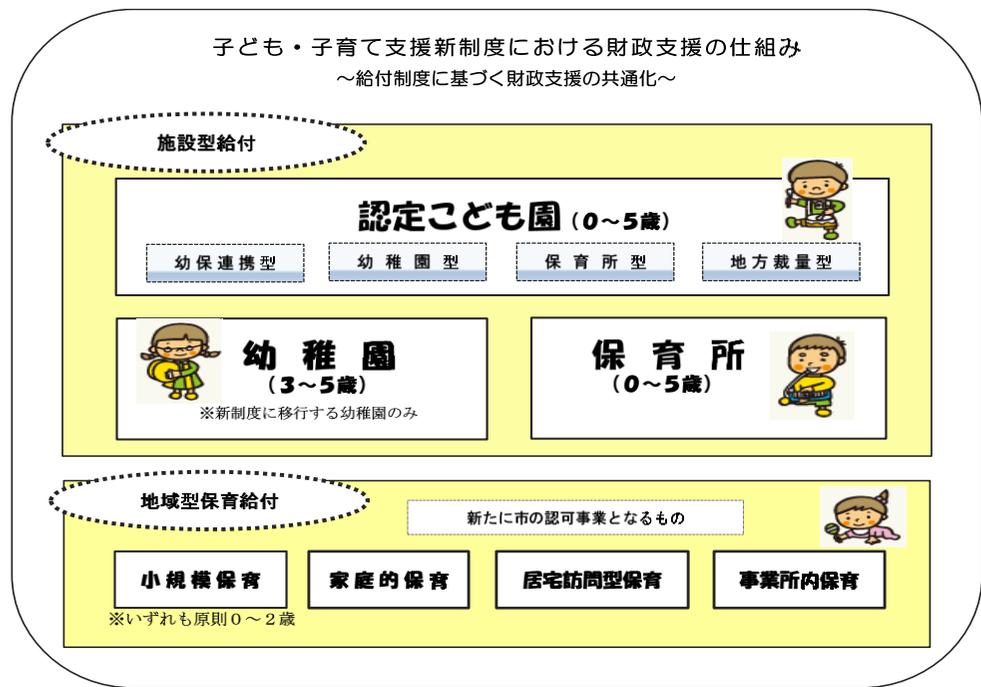
子ども・子育て支援法を始め、関連する法律が制定され、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月に本格的に始まります。このため、本市においては、子どもたちがより豊かに育っていける支援を目指し、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」の普及拡大により子育て支援の選択肢を増やすことや、少人数単位での保育が可能となる「地域型保育」の導入など、各種事業の展開により、待機児童の解消に向けた取組を始め、子育て家庭の様々なニーズに対応した体制整備を図ります。

【事業の概要】

◎私立認定こども園運営事業	740,138千円
◎地域型保育運営事業	70,195千円
◎子育て支援コンシェルジュ事業	2,416千円
合計	812,749千円

【期待される効果】

「子ども・子育て支援新制度」への移行により、質の高い幼児期の教育・保育、地域での子育て支援を提供する「認定こども園」の充実・強化や、全ての子育て家庭を対象とした子育ての相談や一時預かりの場を増やすなど、地域の様々なニーズに応じた各種施策を総合的に提供することにより、子育て環境の向上に寄与します。



款	民生費	項	児童福祉費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	公立保育所民間活力導入事業				
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,952				2,952	・委託料 2,700 ・報償費 248 ・需用費 4

【事業の目的】

平成26年度に設置した「土浦市公立保育所の運営のあり方検討委員会」の検討結果に基づき、公立保育所に民間活力を円滑に導入するため、民間活力の手法、導入時期、市の支援体制などを網羅した実施計画を策定します。

【事業の概要】

(単位：千円)

事業内容	予算額
◎公立保育所民間活力導入実施計画策定委託 ・民間活力導入の基本的な考え方の整理 ・対象保育所及び導入時期選定基準の検討 ・民営化後の市の支援体制の検討	2,700
◎（仮称）公立保育所民間活力導入実施計画策定委員会の開催	252
合計	2,952



公立保育所の運営のあり方検討委員会の様子

【期待される効果】

公立保育所に民間活力を導入することにより、多様化する子育てニーズへの対応を図るとともに、新たな時代に即した効率的な保育所運営が期待できます。

款	衛生費	項	保健衛生費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	医療体制強化事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財 源 内 訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
28,000				28,000		・ 寄付金 28,000		
【事業の目的】								
医師不足等の医療課題に対する取組として設置している寄附講座を拡充し、地域医療の更なる充実を図ります。								
【事業の概要】								
筑波大学から派遣されている教員を2人増員し、寄附講座の活動拠点である「筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション」を「同センター」にすることで、本寄附講座の機能強化を図ります。								
寄附講座の名称	土浦市地域医療教育学講座							
寄附の相手方	国立大学法人 筑波大学							
寄附講座の設置期間	5年間 平成24～28年度							
教育・研究拠点施設	独立行政法人 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター内							
	平成24～26年度		筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション					
	平成27～28年度		筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター					
配置教員	平成24～26年度 3人							
	平成27～28年度 5人							
寄付金額	(単位：千円)							
	年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	金 額	42,000	42,000	42,000	70,000	70,000		
【期待される効果】								
本寄附講座の機能強化を図り、地域医療の更なる充実に資することにより、市民が安心・安全に暮らせる環境を創ります。								

款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	プラスチック製容器包装分別収集事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
63,944				63,944	・委託料		61,644	
					・需用費		2,300	

【事業の目的】

第2次土浦市ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、現在の可燃ごみの中から、プラスチック製容器包装を分別収集し、更なるごみの減量化及びリサイクルを推進します。

【事業の概要】

モデル地区の排出方法及び収集体制の検証結果を踏まえ、プラスチック製容器包装分別収集を平成27年度から市内全域で実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	圧縮保管委託料	20,447
	再商品化委託料	279
	収集運搬委託料（土浦地区）※	40,918
需用費	広報啓発冊子	2,300
合計		63,944

※土浦地区の収集運搬委託料は、可燃・生ごみ・プラスチック製容器包装分別収集を併せて長期継続契約(5年)で契約済みです。

5年間総額 2,058,242,400円

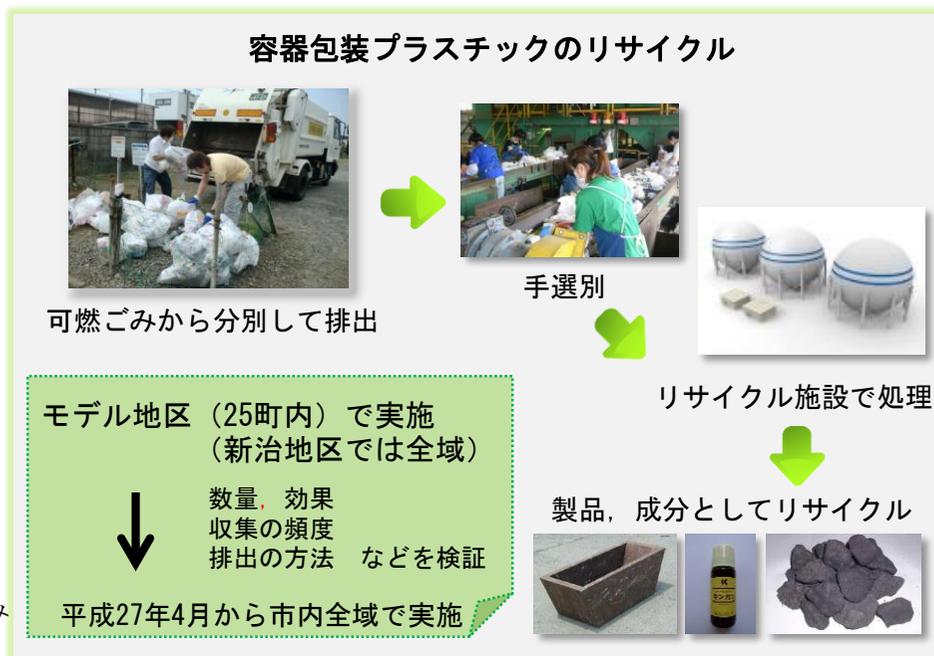
→ 年間 411,648,480円

うち、容プラ分 40,917,859円

新治地区は、従来から新治広域環境クリーンセンターに収集運搬しています。

【期待される効果】

プラスチック製容器包装分別収集の実施拡大により、更なるごみの減量化及び再資源化並びに温室効果ガスの削減が図られます。



款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	生ごみ分別収集事業			
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり			
予算額	財源内訳			予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	
297,603				297,603
				・委託料 292,712 ・需用費 4,891

【事業の目的】

第2次土浦市ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、現在の可燃ごみの中から生ごみを分別収集し、更なるごみの減量化及びリサイクルを推進します。また、バイオマスタウン構想に基づき、生ごみを資源物として利活用します。

【事業の概要】

モデル地区の排出方法及び収集体制の検証結果を踏まえ、生ごみ分別収集を平成27年度から市内全域で実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	処理委託料	123,000
	土浦地区収集運搬委託料※	163,672
	新治地区収集運搬委託料	6,040
需用費	集積場看板作成他	4,891
合計		297,603

※土浦地区の収集運搬委託料は、可燃・生ごみ・プラスチック製容器包装分別収集を併せて長期継続契約（5年）で契約済みです。

5年間総額 2,058,242,400円
 → 年間 411,648,480円
 うち、生ごみ分 163,671,435円

【期待される効果】

生ごみ分別収集の実施拡大により、更なるごみの減量化及び再資源化が図られます。



款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	汚泥再生処理センター整備事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
4,000				4,000	・委託料 4,000			

【事業の目的】

老朽化した衛生センターを、現在処理しているし尿や浄化槽汚泥に加え、有機性廃棄物（農業集落排水施設汚泥）を併せて処理できるよう、汚泥再生処理センターとして建て替えます。

【事業の概要】

平成27年度は、循環型社会形成推進交付金を活用するため、循環型社会形成推進地域計画を策定し、合わせて、し尿や汚泥の処理方法等の基本方針を定める生活排水処理基本計画を策定します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	計画策定委託料	4,000

◎今後の整備スケジュール

工種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
測量、地質照査	←→			
環境影響調査	←→			
施設整備基本計画	←→			
基本実施設計	←→			
建設工事		←→→→		

※平成28年度から、循環型社会形成推進交付金を活用します。



現在の衛生センター

【期待される効果】

し尿や浄化槽汚泥のみならず、その他の有機性廃棄物を含めて再生利用することで循環型社会形成の推進を図ります。

款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	ごみ焼却施設整備事業						
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
64,022	11,292	37,900		14,830	・工事請負費	63,642	
					・委託料	280	
					・旅費	100	

【事業の目的】

平成4年4月施設稼働後23年を経過し、経年劣化による機能の低下が見受けられる清掃センター（ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設）について、土浦市清掃センター長寿命化計画（平成22年度策定）に基づき基幹的施設の更新工事を行い、平成48年度までの延命化を図ります。また、老朽化した設備・機器類の更新を行い、健全な施設運営を図ります。

【事業の概要】

◎清掃センター基幹的施設更新事業（平成24～30年度）全体事業費 5,836,113千円
 （単位：千円）

区分	概要	事業費
工事請負費	基幹的施設更新工事 （ごみ焼却施設，粗大ごみ処理施設）	57,150
委託料	工事監理委託	280
需用費	旅費	100
合計		57,530

スケジュール

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実施設計	←→			
工事		←	→	→

※本事業は、循環型社会形成推進交付金（交付要件：温室効果ガス削減率3%以上の改良事業）を活用します。

◎ごみクレーンバケット更新工事 6,492 千円

【期待される効果】

基幹的施設の更新及び設備・機器類の定期的な更新により、施設の延命化を図り、安全で安定的な処理の継続に寄与します。また、温室効果ガスの3%以上の削減が図られます。



清掃センター

款	衛生費	項	環境保全対策費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	地球温暖化対策推進事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
18,320	1,500			16,820	・負担金補助及び交付金	12,200	・備品購入費	3,600
					・工事請負費	1,420	・需用費等	1,100

【事業の目的】

地球温暖化防止行動計画に基づき、市内区域から排出される温室効果ガスの削減に向け、市民・事業者・行政各主体の継続的な施策の推進を図ります。

【事業の概要】

住宅用の太陽光発電システム及び高効率給湯機器等の導入に対し、補助を行います。また、平成26年度に見直しを行った土浦市地球温暖化防止行動計画について、あらゆる機会を通じて啓発活動を実施するとともに、市役所の率先行動として、公共施設における太陽熱温水器の導入及び空調設備の高効率化を行います。

(単価：千円)

区分	事業費	概要
住宅用環境配慮型設備導入補助事業	12,200	太陽光発電補助 9,000
		高効率給湯器等補助 3,200
太陽熱温水器設置事業	1,420	神立消防署へ設置
地球温暖化防止行動計画見直し事業	1,100	計画書及び概要版の印刷製本
省エネ法対策事業	3,600	竹ノ入保育所のエアコン改修
合計	18,320	



太陽光発電システム設置例

【期待される効果】

住宅用環境配慮型設備導入補助事業及び公共施設における再生可能エネルギー導入や省エネ改修等の率先行動により、市民・事業者の積極的な行動と温室効果ガス削減に寄与します。

款	衛生費	項	環境保全対策費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	自然環境調査事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
1,900				1,900	・委託料 ・需用費			1,891 9

【事業の目的】

第二期土浦市環境基本計画の基本目標1（自然環境）の行動方針「豊かな自然に命を育む生物と共生しよう」に基づき、市内の生物の生息状況の現状把握を行うとともに、前回調査（平成14～15年）から10年が経過した自然環境実態調査との比較調査を行います。

【事業の概要】

前回調査は合併前で新治地区が未調査のため、新治地区を含めた市内全域を各中学校地区ごとに年次計画で調査を行います。また、調査の結果から環境副教材及び環境マップを作成し、自然観察会のルートを検討します。

◎調査方法

調査員	各地区のチャレンジクラブ及び各地区の環境基本計画推進協議会の委員
調査時期	春・秋（年2回）
調査指標生物	カエル，トンボ，貝，水生植物
調査年次	平成26年度・・・二中地区，四中地区（調査済み） 平成27年度・・・五中地区，六中地区，都和中地区 平成28年度・・・一中地区，三中地区，新治地区



四中地区での調査の様子



二中地区での調査の様子

【期待される効果】

前回調査時からの自然環境の変化が把握でき、環境学習を行いながらの調査とすることで、自然環境保全の啓蒙及び推進に寄与します。また、作成した環境マップを環境教育と環境学習の教材として活用されることが期待されます。

款	農林水産業費	項	農業費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	そばまつり事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
2,400				2,400	・負担金補助及び交付金			2,400

【事業の目的】

品評会においても表彰を受けるなど，定評のある新治地区の「常陸秋そば」を広く市内外にPRするため，「土浦そばまつり」を開催し，消費拡大と地域振興を図ります。

【事業の概要】

「土浦そばまつり」は，平成25年度，平成26年度と2回開催し，5,000人規模の来場者を迎えることができました。平成27年度は，市内のそば店舗への参加を働きかけ，ウララ広場での開催を検討するなど，引き続き土浦産常陸秋そばの消費拡大を図ります。
 ◎そばまつり事業補助金 2,400千円（会場設営，給排水設備工事，広告宣伝，イベント等）

【期待される効果】

土浦産「常陸秋そば」の品質の良さを消費者にアピールすることで，そばの生産振興と販路拡大，生産農家の経営安定に寄与するとともに，イベントを通じて，地域振興と市民等の交流に寄与します。



第2回そばまつりの様子

款	農林水産業費	項	農業費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	--------	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	農産物地域特産化推進事業						
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,136				1,136	・委託料	500	
					・役務費	400	
					・報償費	210	
					・旅費	26	

【事業の目的】

土浦産の農産物についてブランド化を図り，消費者から喜んで選んでいただけるような，足を運んででも買いに行きたいと思ってもらえるような，新たな価値を生み出します。

【事業の概要】

◎農産物ブランド化推進協議会

- ・「つちうらぶらんど」としての認証登録を進め，イベントや各種メディアを通じた情報発信を行い，ブランド農産物のPR，販売及び販路拡大を図ります。
- ・ブランド農産物を用いた新たな加工品の検討を行います。

◎認証登録品の公表・PR

認証登録された農産物を市ホームページに掲載するとともに，市内外のイベント等で広報を図り，消費者への普及宣伝を進めていきます。

【期待される効果】

本市のブランド農産物等が消費者に認知され，付加価値が高まることで新たな販路の開拓と販売・消費の拡大を生むとともに，本市の農業振興に寄与します。

款	農林水産業費	項	農業費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	田んぼアート事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
1,500				1,500	・委託料			1,500

【事業の目的】

緑豊かな水田に発色の異なる稲を植え付ける「田んぼアート」の制作等を，都市住民と地元住民が協働して行い，都市住民の農業への理解を深めるとともに，地域間交流を図ります。

【事業の概要】

- ◎緑豊かな水田に発色の異なる稲を植付け，「田んぼアート」として表現します。
- ◎田植えや稲刈りは，都市住民と地元住民が協働で行い，交流を促進します。
- ◎公募による田んぼアートデザインを採用します。
- ◎古代米の活用方法の検討を行っていきます。
- ◎本事業は，土浦市新治地区都市と農村の交流事業推進協議会へ委託して行います。

【期待される効果】

「田んぼアート」の制作を通して都市と農村の交流を深め，農業への相互理解と地域間や世代間の交流を図ります。また，関連イベントの開催や農産物直売などを同時に実施することで，本市の農業の活性化とにぎわいの創出に寄与します。



田植え体験会



田んぼアート



稲刈り体験会

款	農林水産業費	項	農地費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	--------	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	土地改良区等指導育成事業						
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
18,863	7,867			10,996	・負担金補助及び交付金 18,863		

【事業の目的】

近年，食糧自給率の低下，農業者の高齢化，農地の減少，農村の活力低下等，農業を取り巻く環境が厳しい状況にある中で，農業生産基盤の整備，農地等の環境保全に取り組み，農業経営の効率化・安定化を図ります。

【事業の概要】

(1) 多面的機能支払交付金

農地の維持，環境保全及び農業施設の補修，長寿命化に取り組む地域の農業者等の団体に対して，交付金を支払う国の制度

◎平成27年度新規交付団体

①農地維持支払…地域資源の基礎的保全活動，推進活動等

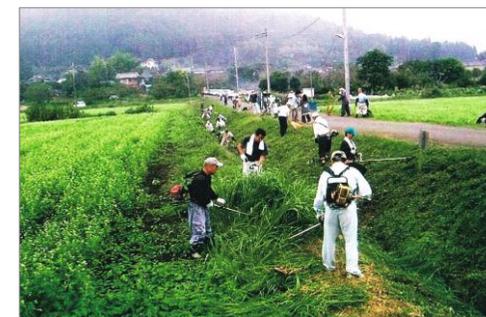
(菅谷地区，手野地区，木田余地区，中地区)

②資源向上支払（共同活動）…施設の軽微な補修，環境保全，多面的機能促進事業

(菅谷地区)

③資源向上支払（長寿命化）…老朽化の進む農業施設の長寿命化を図る補修事業

(菅谷地区)



農地維持支払（基礎的な保全活動）

(2) 揚水事業…烏山第二地区制御盤更新工事の実施

(3) 土地改良事業…団体（土地改良区，農家組合，水利組合）が実施する土地改良事業に対し，事業費の一部を補助します。

(5団体8事業)

【期待される効果】

事業費を補助することで，老朽化が進む農業水利施設の長寿命化，保全管理等の安定化に寄与します。

款	農林水産業費	項	農地費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	一般地帯土地改良事業（農道・かんがい排水事業）							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
80,000	6,500	40,900		32,600	・工事請負費	57,640		
					・委託料	19,730		
					・需用費	1,500		
					・公有財産購入費	1,130		

【事業の目的】

農業振興地域の農道及び水路の環境整備により，農業の機械化に寄与します。また，水路については，排水路施設としての機能を回復させるとともに，用水源としても活用することにより，営農効率を高め，農業経営の安定化を図ります。

【事業の概要】

(1) 農道整備

- ・農道改良工 1地区 L = 61m
(虫掛地区)
- ・農道舗装工 12地区 L = 984m
(手野谷原地区，手野地区，今泉地区，小野地区，永井地区，田村地区，大志戸地区，菅谷地区，常名地区，栗野地区，本郷地区，大岩田地区)



農道改良工（完成例）



農道舗装工（完成例）

(2) かんがい排水事業

- 排水路整備工 6地区 L = 948m
(手野地区，飯田地区，常名Ⅱ期地区，田中地区，田中2期地区，田中3期地区)

【期待される効果】

大型機械の進入が可能になり，営農効率の向上及び遊休農地の解消による農業経営の安定化に寄与します。

款	商工費	項	商工費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	プレミアム付商品券補助事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳						予算の概要	
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
132,121	132,121						・負担金補助及び交付金 132,121	
H26補正 (132,121)	(132,121)							

【事業の目的】

プレミアムが付いた商品券を発行することにより、市内における個人消費を喚起し、商業の振興と活性化を図るとともに、消費者の利便と消費流通の市外流出防止を図ります。

【事業の概要】

平成27年度発行予定額 6億6,000万円 (2割のプレミアム分を含む)

◎平成26年度の発行状況

第17期

期間 平成26年7月1日～平成26年10月31日

発行額 1億6,500万円 取扱店569店 販売店24店



第18期

期間 平成26年12月1日～平成27年3月31日

発行額 1億6,500万円 取扱店578店 販売店24店



※本事業については、国の平成26年度補正予算に係る臨時交付金を活用

【期待される効果】

土浦商工会議所が事業主体となり、プレミアムが付いた商品券を発行することで、市外への商圈流出防止や個店への誘導対策（換金実績では、大型店の使用が約2割、個店での使用が約8割）に寄与します。

平成27年度については、国の平成26年度補正予算における臨時交付金を活用し、商品券を発行することにより、さらなる本市の地域経済の活性化が期待できます。

款	商工費	項	商工費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	企業誘致事業						
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
80,603				80,603	・負担金補助及び交付金	80,398	
					・旅費	175	
					・需用費	30	

【事業の目的】

企業誘致フェアやセミナー等に参加し、交通アクセスの優位性や企業立地促進奨励金（固定資産税相当額を3年間交付する。）をPRすることにより、本市へ新たな企業の誘致を図り、産業振興と雇用機会の拡大を図ります。

さらに、企業立地奨励金については、これまで工業団地等に立地する場合を支給対象としてきましたが、平成27年度以降は、他の市街化区域内やインターチェンジ周辺地区に立地する場合においても、奨励金が支給できるよう制度を改正し、企業誘致の推進の強化を図ります。

【事業の概要】

◎奨励金交付企業数

平成22年度	9社
平成23年度	13社
平成24年度	9社
平成25年度	9社
平成26年度	5社
平成27年度（予定）	5社

◎立地企業懇談会の開催

◎企業立地セミナー等への参加



立地企業懇談会



土浦おおつ野ヒルズ

【期待される効果】

新たな企業を誘致することにより、雇用の拡大、定住人口の増加や市民所得の向上による地域経済の活性化、更には、税収増による本市財政の強化に寄与します。

事業名	イルミネーション事業				
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,000	8,000			5,000	・負担金補助及び交付金 10,000 ・委託料 3,000
H26補正 (13,000)	(8,000)			(5,000)	

【事業の目的】

霞ヶ浦総合公園のオランダ型風車や9月に開庁する新庁舎をイルミネーション装飾することにより、冬のにぎわいの創出と中心市街地の活性化を図ります。

【事業の概要】

◎霞ヶ浦観光にぎわい事業（12月中旬～2月下旬予定）

オランダ型風車を中心とした霞ヶ浦総合公園へのイルミネーション設置
(単位：千円)

事業内容		予算額
補助金	風車等イルミネーションの設置及び仮設電源工事	10,000

◎市庁舎イルミネーション事業（11月下旬～1月中旬予定）

大屋根が整備されるうらら広場を中心とした新庁舎へのイルミネーション設置
(単位：千円)

事業内容		予算額
委託料	うらら広場等イルミネーション設置	3,000

※本事業については、国の平成26年度補正予算に係る臨時交付金を活用

【期待される効果】

霞ヶ浦総合公園及び土浦駅前にイルミネーション装飾を施すことで、にぎわいの創出と地域の活性化が図られるとともに、本市のイメージアップに寄与します。



イルミネーションイメージ

款	商工費	項	商工費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	花火大会事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	・負担金補助及び交付金 73,929			
73,929				73,929				

【事業の目的】

本市が全国に誇る土浦全国花火競技大会の更なる充実を図り，煙火技術の向上へ貢献するとともに，「土浦の花火」を全国にアピールします。また，雑踏警備や火気取扱いの指導などの安全対策に力を注ぎ，より安心して安全な大会の運営に万全を期し，全国の模範となる大会運営を行います。

【事業の概要】

第84回土浦全国花火競技大会の開催
期日：平成27年10月3日（土）開催予定

競技内容

- ・スターマインの部 22台
- ・10号玉の部 45発
- ・創造花火の部 22組

大会提供花火

- ・レクチャー花火
- ・ワイドスターマイン「土浦花火づくし」
- ・エンディング花火
- ・新庁舎開庁記念企画花火



スターマイン



10号玉



花火師登場



土浦花火づくし

【期待される効果】

本事業は，本市のみならず茨城県内でも最大規模のイベントであり，本市を全国にアピールし，イメージアップが図れます。また，例年70万人もの観客があることから経済的な効果も高く，本市の活性化に寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	「ゾーン30」整備事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
1,000	550			450	・工事請負費			1,000

【事業の目的】

通学路や住宅地等の生活道路において，歩行者・自転車の安全を確保します。

【事業の概要】

市街地において，生活道路が集まった区域，自動車の通行よりも歩行者・自転車の通行の安全が優先される区域，速度抑制及び通行の抑制が必要と認められる区域等を「ゾーン30」として認定し，最高速度30km/hの速度規制や大型自動車通行禁止等の交通規制を実施するほか，路側帯の設置やカラー舗装・道路標識・標示の整備等の対策を実施します。

◎実施箇所

- 平成24年度 文京町，田中一丁目
- 平成25年度 大手町
- 平成26年度 真鍋新町
- 平成27年度 生田町（予定）

【期待される効果】

区画線設置，路面表示等を実施し，速度の規制等を行うことで，通行者や自転車の交通の安全を確保することができます。



大手町（一中地区公民館付近）



「ゾーン30」設定区域（文京町付近）

款	土木費	項	道路橋梁費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	財源内訳						予算の概要	
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
171,000	94,050	69,200		7,750		・工事請負費	127,000	
						・委託料	44,000	

【事業の目的】

橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り，災害時における緊急輸送路等を確保するとともに，安全な道路交通を推進します。

【事業の概要】

◎橋梁耐震対策事業

- ・国道6号3号橋耐震補強工事（中高津跨道橋） 20,000千円
- ・国道6号5号橋耐震補強設計委託 4,000千円

◎橋梁長寿命化修繕事業

- ・修繕工事（4橋梁） 107,000千円
常磐線2号橋（三番橋），桜川1号橋（銭亀橋），山王橋
国道6号4号橋（天川跨道橋）
- ・詳細設計委託（13橋梁） 40,000千円
常磐線5号橋（真鍋跨線橋），常磐線6号橋（神立跨線橋）
桜川3号橋（水郷橋），真鍋1号橋（浅間台高架橋） 他9橋梁



常磐線2号橋（三番橋）現況

【期待される効果】

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより，橋梁の長寿命化を図るとともに，予算の平準化と維持管理費用の削減を行い，道路交通の安全性と信頼を，将来にわたり確保することができます。

款	土木費	項	道路橋梁費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	道路新設改良事業						
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
815,000	100,000	612,000		103,000	・工事請負費	543,399	
					・委託料	111,400	
					・公有財産購入費	85,000	
					・補償補填及び賠償金等	75,201	

【事業の目的】

日常生活の利便性の向上及び生活環境の改善を図るとともに、歩行者及び自転車通行の安全を確保します。

【事業の概要】

◎道路改良工事	45路線	L = 6,595m	543,399千円
◎測量設計委託	40路線	L = 8,758m	111,400千円
◎用地取得	38路線	A = 11,455㎡	85,000千円
◎物件移転補償			63,100千円
◎役務費（登記料等）			9,460千円
◎原材料購入			700千円
◎その他事務費			1,941千円

※道路現況（平成26年4月現在）

市道改良率	46.39%
舗装率	76.75%
路線数	6,913路線，実延長 1,513km



市道Ⅰ級9号線（並木四丁目）整備状況

【期待される効果】

道路拡幅整備により日常生活の利便性の向上を図るとともに、歩行者・自転車通行の確保、緊急車両等の通行を可能にすることにより、市民の安全と交通事故の防止に寄与します。

款	土木費	項	河川費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
128,500	35,000	74,300		19,200	・工事請負費 124,000 ・補償補填及び賠償金 1,700 ・委託料 1,500 ・役務費 1,300			

【事業の目的】

豪雨による道路冠水等を解消するため，雨水を速やかに排除する施設の整備を計画的に進めます。また，都市下水路整備事業については，国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しながら，生活環境の改善に努めます。

【事業の概要】

◎都市下水路整備事業

- ①西根竹の入都市下水路整備工事 L = 50m
- ②天川上高津都市下水路整備工事 L = 85m

◎小規模排水路整備事業

- ①虫掛地内小規模排水路整備工事 L = 100m
- " 実施設計委託 L = 300m
- ②田中地内小規模排水路整備工事 L = 350m

【期待される効果】

大雨による浸水被害が減少し，市民の生活環境の向上に寄与します。



天川上高津都市下水路整備状況

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	地域公共交通確保維持改善事業				
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,096				12,096	<ul style="list-style-type: none"> 負担金補助及び交付金 11,580 役務費 375 使用料及び賃借料 100 需用費 41

【事業の目的】

平成21年度に策定した「土浦市地域公共交通総合連携計画」に基づき、地域・住民、企業、交通事業者、行政の一体的な連携のもと、公共交通活性化施策の展開を図ることにより、高齢者・学生等の交通弱者に対する移動手段の確保や環境負荷の小さい交通体系を構築します。

【事業の概要】

事業項目	予算額 (千円)
○地域公共交通活性化協議会負担金	
地域公共交通網形成計画策定調査事業	3,926
デマンド型交通のあり方調査事業	3,888
市民モニターによるバス評価制度	32
ホームページ運営	140
公共交通案内ガイドブック作成	230
協議会運営経費	784
小計	9,000
○バス運行対策費負担金	1,721
○霞ヶ浦広域バス運行対策費補助金	859
合計	11,580



JR常磐線 土浦駅・荒川中駅・神立駅時刻表

土浦駅上り(上野方面)		土浦駅下り(赤井方面)	
車 号	発 車	車 号	発 車
常 1	07:00	常 1	07:00
常 2	07:15	常 2	07:15
常 3	07:30	常 3	07:30
常 4	07:45	常 4	07:45
常 5	08:00	常 5	08:00
常 6	08:15	常 6	08:15
常 7	08:30	常 7	08:30
常 8	08:45	常 8	08:45
常 9	09:00	常 9	09:00
常 10	09:15	常 10	09:15
常 11	09:30	常 11	09:30
常 12	09:45	常 12	09:45
常 13	10:00	常 13	10:00
常 14	10:15	常 14	10:15
常 15	10:30	常 15	10:30
常 16	10:45	常 16	10:45
常 17	11:00	常 17	11:00
常 18	11:15	常 18	11:15
常 19	11:30	常 19	11:30
常 20	11:45	常 20	11:45
常 21	12:00	常 21	12:00
常 22	12:15	常 22	12:15
常 23	12:30	常 23	12:30
常 24	12:45	常 24	12:45
常 25	13:00	常 25	13:00
常 26	13:15	常 26	13:15
常 27	13:30	常 27	13:30
常 28	13:45	常 28	13:45
常 29	14:00	常 29	14:00
常 30	14:15	常 30	14:15
常 31	14:30	常 31	14:30
常 32	14:45	常 32	14:45
常 33	15:00	常 33	15:00
常 34	15:15	常 34	15:15
常 35	15:30	常 35	15:30
常 36	15:45	常 36	15:45
常 37	16:00	常 37	16:00
常 38	16:15	常 38	16:15
常 39	16:30	常 39	16:30
常 40	16:45	常 40	16:45
常 41	17:00	常 41	17:00
常 42	17:15	常 42	17:15
常 43	17:30	常 43	17:30
常 44	17:45	常 44	17:45
常 45	18:00	常 45	18:00
常 46	18:15	常 46	18:15
常 47	18:30	常 47	18:30
常 48	18:45	常 48	18:45
常 49	19:00	常 49	19:00
常 50	19:15	常 50	19:15
常 51	19:30	常 51	19:30
常 52	19:45	常 52	19:45
常 53	20:00	常 53	20:00
常 54	20:15	常 54	20:15
常 55	20:30	常 55	20:30
常 56	20:45	常 56	20:45
常 57	21:00	常 57	21:00
常 58	21:15	常 58	21:15
常 59	21:30	常 59	21:30
常 60	21:45	常 60	21:45
常 61	22:00	常 61	22:00
常 62	22:15	常 62	22:15
常 63	22:30	常 63	22:30
常 64	22:45	常 64	22:45
常 65	23:00	常 65	23:00
常 66	23:15	常 66	23:15
常 67	23:30	常 67	23:30
常 68	23:45	常 68	23:45
常 69	24:00	常 69	24:00
常 70	24:15	常 70	24:15
常 71	24:30	常 71	24:30
常 72	24:45	常 72	24:45
常 73	25:00	常 73	25:00
常 74	25:15	常 74	25:15
常 75	25:30	常 75	25:30
常 76	25:45	常 76	25:45
常 77	26:00	常 77	26:00
常 78	26:15	常 78	26:15
常 79	26:30	常 79	26:30
常 80	26:45	常 80	26:45
常 81	27:00	常 81	27:00
常 82	27:15	常 82	27:15
常 83	27:30	常 83	27:30
常 84	27:45	常 84	27:45
常 85	28:00	常 85	28:00
常 86	28:15	常 86	28:15
常 87	28:30	常 87	28:30
常 88	28:45	常 88	28:45
常 89	29:00	常 89	29:00
常 90	29:15	常 90	29:15
常 91	29:30	常 91	29:30
常 92	29:45	常 92	29:45
常 93	30:00	常 93	30:00
常 94	30:15	常 94	30:15
常 95	30:30	常 95	30:30
常 96	30:45	常 96	30:45
常 97	31:00	常 97	31:00
常 98	31:15	常 98	31:15
常 99	31:30	常 99	31:30
常 100	31:45	常 100	31:45

公共交通案内ガイドブック



ホームページ

【期待される効果】

交通網形成計画策定のための基礎調査を実施し、コンパクトシティの実現に向けたまちづくりとの連携、地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築を図ることにより、持続可能な地域公共交通網の形成に寄与します。また、情報提供等の各種施策の実施により、公共交通の維持・活性化が図られます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	かわまちづくり事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
17,092	8,250	7,400		1,442	・工事請負費 17,000 ・負担金補助及び交付金等 92			

【事業の目的】

平成25年度に策定した「かわまちづくり計画（計画期間：平成26～30年度）」に基づく事業を市民・河川管理者・市の連携の下で推進することにより、霞ヶ浦や桜川の水辺空間とまちが融合した良好な空間形成を図ります。

【事業の概要】

(単位：千円)

事業内容	事業費
(1) 遊歩道整備工事 施工箇所：桜川左岸（常磐線・桜川橋間）	16,500
(2) ガードレール修繕工事 施工箇所：桜川左岸（匂橋付近）	500
(3) 利根川舟運・地域づくり協議会 負担金等	92
合計	17,092



桜川左岸（常磐線・桜川橋間）の現況



遊歩道整備イメージ（水戸市桜川）



活用イメージ（水戸市千波湖）

【期待される効果】

中心市街地に近接する霞ヶ浦や桜川の水辺空間について、まちと水辺が融合した良好な空間形成が図られることにより、市民に潤いや安らぎをもたらし、生涯学習、健康づくり、遊びの場等となるとともに、恵まれた自然環境を活かしたまちの活性化に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	亀城モール整備事業				
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
614,449	306,811	276,100		31,538	<ul style="list-style-type: none"> ・補償補填及び賠償金 567,323 ・用地取得費 46,302 ・工事請負費 800 ・需用費 24

【事業の目的】

「土浦市総合交通体系調査」に基づき、円滑で安心、安全な交通体系を構築するとともに、快適な歩行者空間の確保を目指します。本事業箇所は、土浦駅前やモール505から亀城公園までを結ぶ、中心市街地の回遊ルートの中に位置することから、市民及び来訪者の憩いの空間づくりを行います。また、イベント等で活用できるように、モール505を含めた一体的な広場空間として整備します。

【事業の概要】

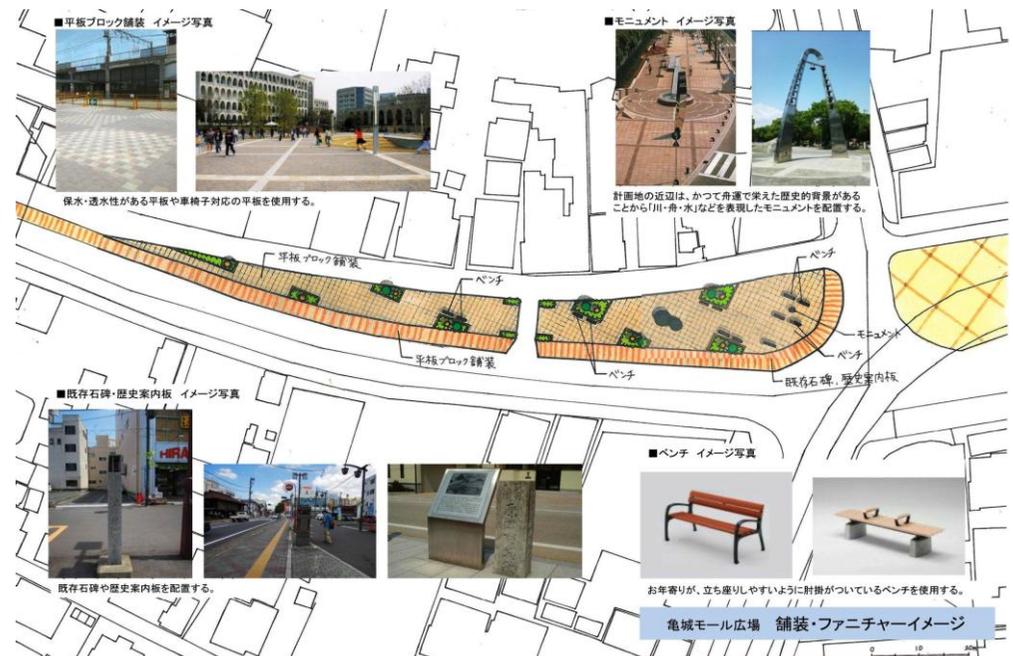
◎亀城モール整備

事業年度：平成26～29年度

整備面積：約2,900㎡

(単位：千円)

事業内容	予算額
建物・工作物・営業補償等	567,323
用地取得費	46,302
柵設置工事	800
消耗品	24
合計	614,449



亀城モールの整備イメージ

【期待される効果】

亀城モールの整備により、歩行者や自転車等の安全性を高めるとともに快適な都市空間を形成し、中心市街地のにぎわいを創出します。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅西口広場整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
594,000	291,399	262,300		40,301	・工事請負費 594,000			

【事業の目的】

土浦駅西口広場の交通状況については、横断歩道、バス、タクシー、一般車の通過交通等が交錯し、危険であること、また、新庁舎の移転や図書館を核とした土浦駅前北地区市街地再開発事業を進めることにより、広場周辺の更なる交通量の増加が見込まれるため、その交通混雑の解消と利用者の安全性の向上を図ります。

【事業の概要】

◎土浦駅西口広場整備事業 594,000千円

- (1) 全体広場改修面積 A=9,800㎡
- (2) 事業年度 平成26～29年度
- (3) 平成27年度事業
 - ・広場改修工事（バスターミナル等）
 - ・シェルター設置工事（747㎡）
 - ・ベンチ設置工事（12基）
 - ・サイン設置工事（15基）



西口広場バスターミナル側整備イメージ図

【期待される効果】

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分し、交錯する動線を解消することや広場内における歩行者の車道横断を極力少なくすることにより、安全性の向上が見込まれます。また、りそな銀行前の食い違い交差点を解消し、直交化することにより、駅前広場に進入していた通過交通の排除及び交通の円滑化を図ります。

さらに、シェルターやサイン等を併せて設置することで、利用者の利便性を向上し、公共交通機関の利用促進を図ります。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	立地適正化計画策定事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
8,000	4,000			4,000	・委託料 8,000			

【事業の目的】

住宅及び医療、福祉、商業その他の居住に関連する施設の立地の適正化を図るため、一定の区域への誘導を行い、コンパクトなまちづくりを推進します。

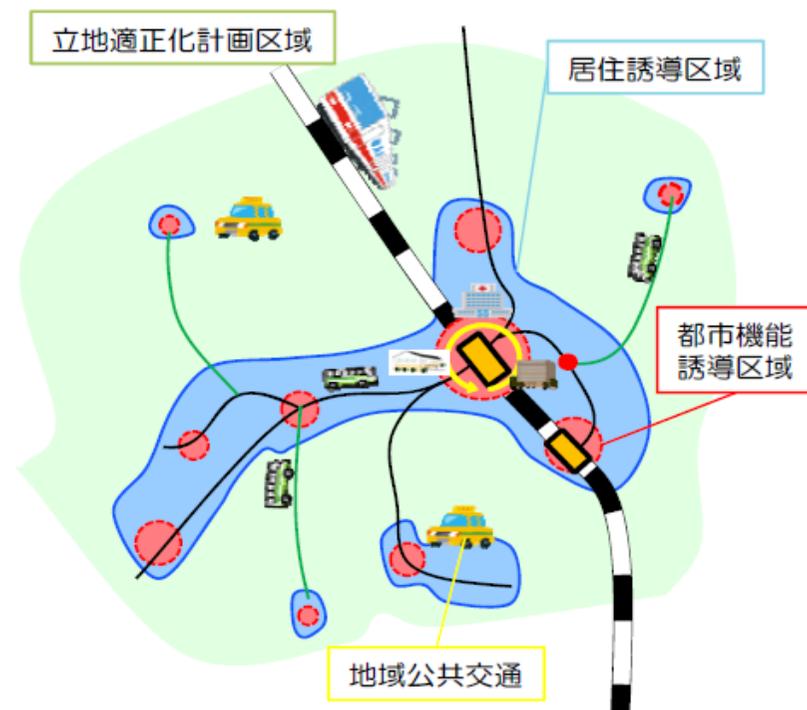
【事業の概要】

平成28年度末の計画策定向けて、平成27年度は主に以下のことを行います。

- ①基礎データの整理・検討
- ②基本の方針の検討
- ③都市機能誘導区域・居住誘導区域素案の検討

【期待される効果】

医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、市民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできる『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』の考えを実現して、市民の健康で快適な生活と、持続可能な都市経営に寄与します。



立地適正化計画のイメージ

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	・負担金補助及び交付金 495,000			
495,000		375,900		119,100				

【事業の目的】

神立駅西口地区において，土地区画整理事業等により，西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し，質の高い市街地の形成を進めます。

【事業の概要】

施行者 土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合
 施行期間 平成24～31年度
 施行面積 約2.2ha(土浦市 1.3ha, かすみがうら市 0.9ha)
 都市施設概要 西口駅前広場 約4,800㎡, 神立停車場線 W=22m L=23m
 神立駅前西通り線 W=13.5～15m L=211m
 神立駅東西自由通路線 W=6m L=40m
 東口歩行者専用道路 W=3～16m L=500m



西口駅前広場現況

平成27年度	建物等補償費	232,320千円
	仮設西口駅前広場工事費	18,000千円
	建物等移転計画・事業推進業務等	39,500千円
	駅舎橋上化・東西自由通路整備費	35,000千円
	東口歩行者専用道路 用地買収・移転補償費等	139,612千円
	事務費・派遣職員人件費	30,568千円
	計	495,000千円



土地区画整理事業 設計図

【期待される効果】

駅前広場，都市計画道路，橋上駅舎や自由通路等の都市基盤を一体的に整備することにより，本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	木田余神立線／神立停車場線街路事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
432,000	212,400	156,400		63,200	・補償補填及び賠償金 260,412 ・公有財産購入費 153,759 ・役務費 15,089 ・工事請負費等 2,740			

【事業の目的】

木田余地区土地区画整理事業地内から神立工業団地（神立配水場前）までの区間が完了し、引き続き残りの未整備区間を事業化し、市北部地域における円滑な交通動線を確保することで、南北軸の強化を図ります。

また、神立駅西口地区土地区画整理地から、かすみがうら市との行政界までの道路の整備により、交通動線の確保と快適な道路環境の形成を図ります。

【事業の概要】

◎木田余神立線街路事業（Ⅱ期） 167,000千円

①全体整備延長 L=328m, 幅員 W=12m

②事業年度 平成24～31年度

③平成27年度事業 用地買収（60,000千円） 補償（100,000千円）
 防護柵設置工事（300千円） 役務費等（6,700千円）

◎神立停車場線街路事業 265,000千円

①全体整備延長 L=287m 幅員 W=22m

②事業年度 平成23～29年度

③平成27年度事業 用地買収（93,759千円） 補償（160,412千円）
 防護柵設置工事（776千円） 役務費等（10,053千円）



現況



現況

【期待される効果】

中心市街地及び市北部地域の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。

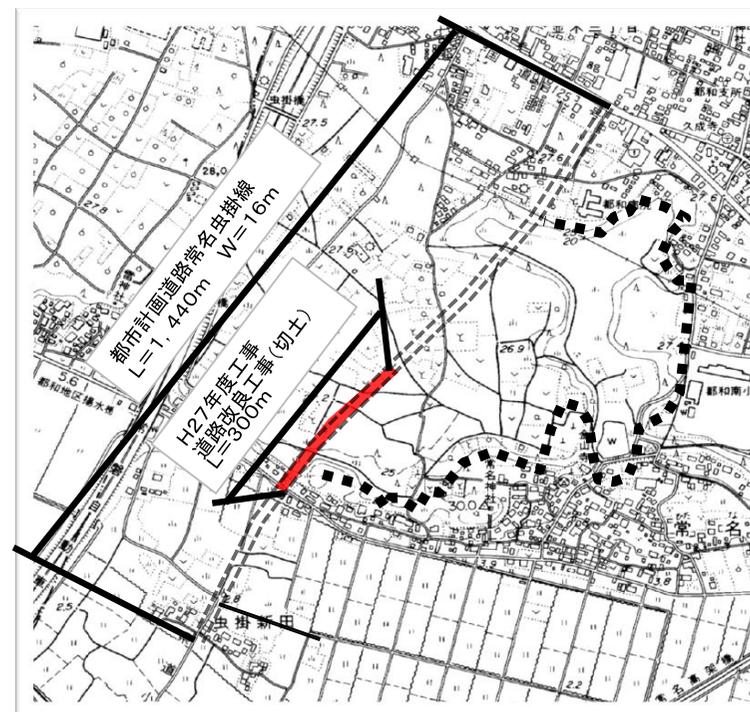
款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	常名虫掛線街路事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
256,000	84,500	76,000		95,500	・工事請負費	224,360		
					・補償補填及び賠償金	29,000		
					・委託料	1,500		
					・役務費等	1,140		

【事業の目的】

常名地内の旧国道125号から虫掛地内の県道小野土浦線までの区間を整備し、常名・虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

【事業の概要】

- ◎常名虫掛線街路事業 (256,000千円)
 - ①全体整備延長 L=1,440m, 幅員 W=16m
 - ②事業年度 平成22～29年度
 - ③平成27年度 道路改良工事(224,360千円)
補償(29,000千円) 委託料(1,500千円)
役務費等(1,140千円)



【期待される効果】

常名・虫掛地区を連絡する幹線道路が整備されることで、中心市街地と並木地区を結ぶ新たな交通ネットワークが構築され、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上につながります。

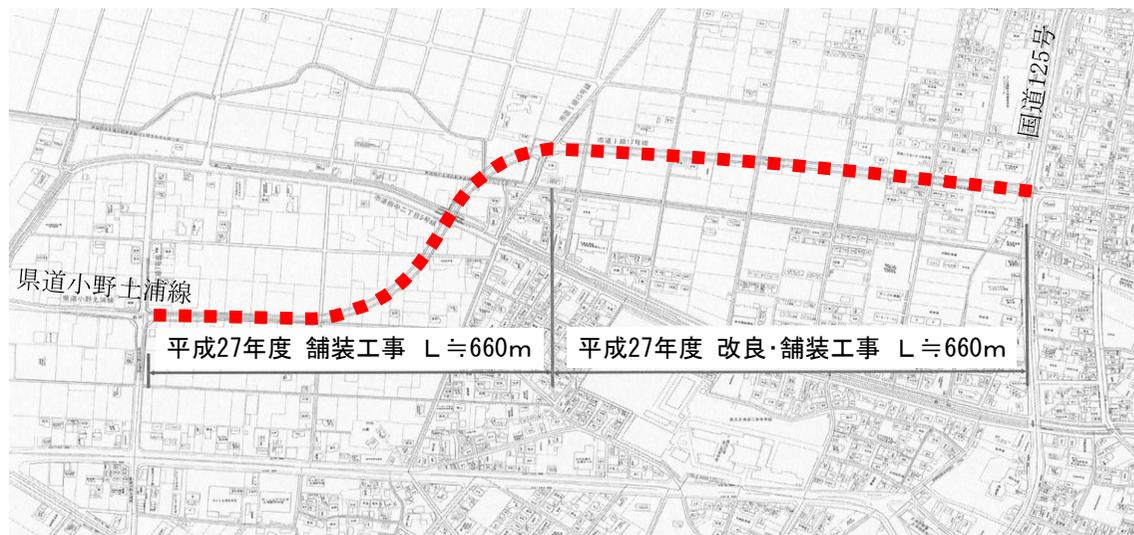
款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
456,000	171,500	267,500		17,000				・工事請負費 451,073 ・委託料 2,646 ・需用費等 2,281

【事業の目的】

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、本市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

【事業の概要】

- ◎真鍋神林線延伸道路整備事業 456,000千円
 - (1)全体整備延長 L=1,320m, 幅員 W=12~15m
 - (2)事業年度 平成24~27年度
 - (3)平成27年度 改良・舗装工事等 451,073千円
 - 測量委託料 2,646千円
 - 需用費等 2,281千円



【期待される効果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。また、本路線に隣接する区域に新消防庁舎の建設を進めており、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセス向上を図ることができます。

さらに、県道小野土浦線を経由して、市道虫掛66号線、新治南314号線及び整備中の都市計画道路「常名虫掛線」に接続することにより、真鍋地区と藤沢地区、並木地区を結び、本市の広域的な地域間連携の強化を図ることができます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
477,000	233,500	229,300		14,200	・工事請負費 372,856 ・公有財産購入費 84,329 ・補償補填及び賠償金 7,294 ・役務費等 12,521			

【事業の目的】

おおつ野地区と神立駅東地区を結ぶ幹線道路を整備し、市北東地域における南北方向の道路網強化を図ります。

【事業の概要】

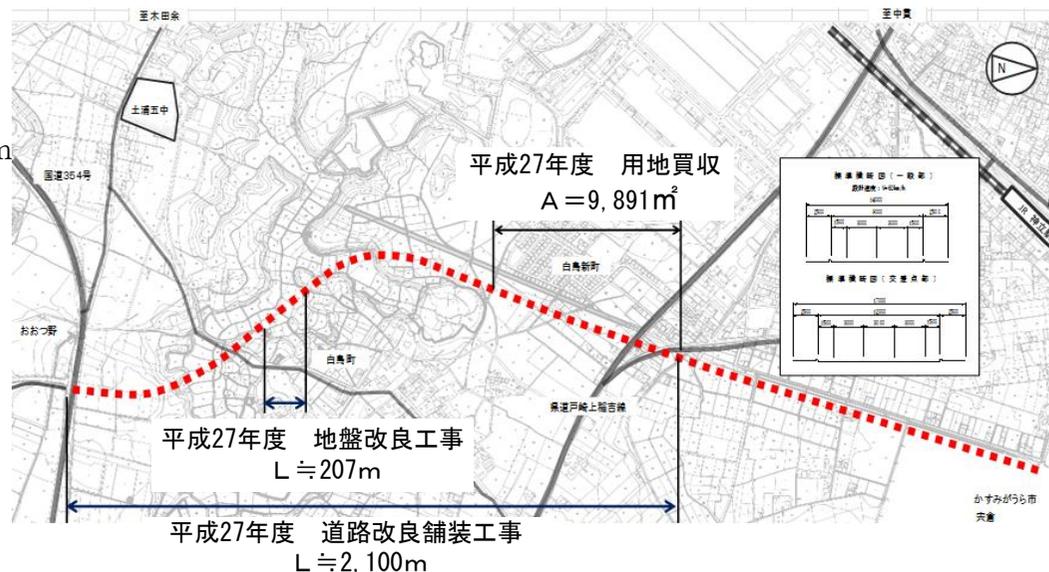
◎田村沖宿線延伸道路整備事業 477,000千円

- (1) 全体整備延長 L=2,900m
 (I期) 2,100m (II期) 800m
 幅員 W=14m

(2) 事業年度 平成24～27年度 (I期)

(3) 平成27年度事業

道路改良工事	372,856千円
用地買収	84,329千円
補償	7,294千円
役務費等	12,521千円



【期待される効果】

市北東地域の交通渋滞が緩和され、南北方向の道路網が強化されるとともに、本路線に隣接するおおつ野地区に総合病院移転が進められている中で、神立駅方面からのアクセス向上が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	荒川沖木田余線整備事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
85,000	46,750	34,400		3,850	・公有財産購入費	50,000		
					・委託料	35,000		

【事業の目的】

土浦駅周辺市街地の内外環状道路として国道6号を補完する役割を担い、かすみがうら市や牛久市方面へ連絡する重要な幹線道路である荒川沖木田余線の4車線化を進め、交通渋滞の解消を図ります。

【事業の概要】

平成17～18年度に実施した「土浦市総合交通体系調査」の中で、効率的な道路整備を進めるために優先整備路線の選定を行い、本路線の3車線（幅員18m）の区間を再整備が必要な路線として位置付けました。これを受けて、平成25年度に幅員変更の都市計画変更を行い、平成26年度から事業に着手しており、早期の4車線化を目指します。

◎荒川沖木田余線（I期）事業

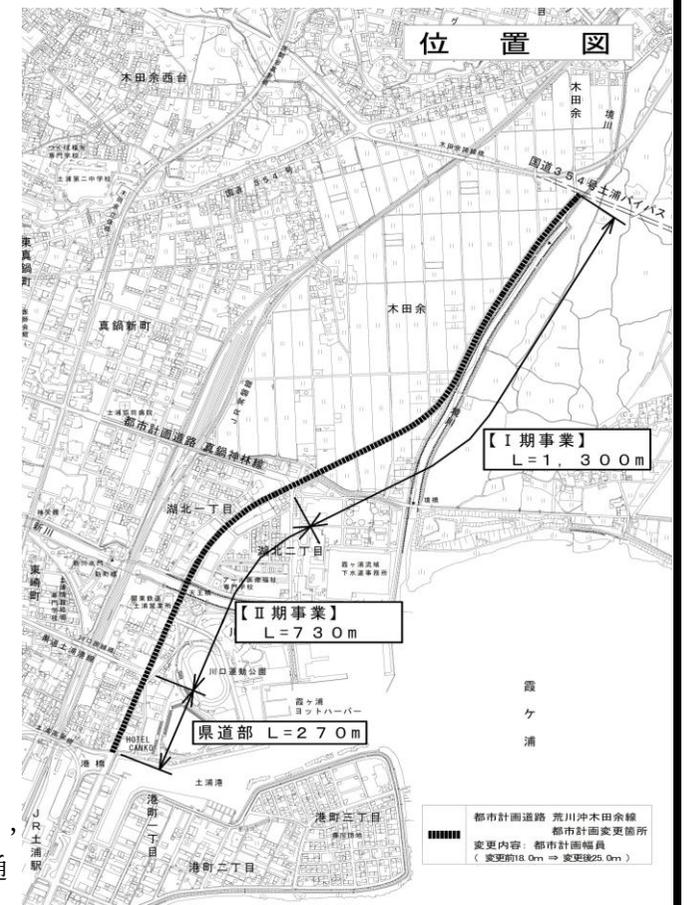
延長 L=1,300m 幅員 W=18m(3車線)→25m(4車線)に拡幅整備

(単位：千円)

事業内容	予算額
詳細設計	9,000
用地測量	26,000
用地買収	50,000
合計	85,000

【期待される効果】

ボトルネックとして交通渋滞の要因となっている3車線区間を4車線化することにより、市内の道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるほか、通過交通の排除により、市街地の交通混雑緩和、安全性の向上が期待できます。



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅北通り線整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
40,797	22,110	16,600	411	1,676		・工事請負費	35,400	
						・委託料	5,295	
						・旅費等	102	

【事業の目的】

土浦駅北通り線のうち，土浦駅前北地区市街地再開発事業で整備する区域から北側80mの区域について，再開発事業に合わせて拡幅整備することで，歩行者動線を確保しながら車両と歩行者の通行を分離し，駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生み出すことを目的とします。

【事業の概要】

◎ 土浦駅北通り線整備工事 35,400千円
(平成27～29年度継続費 総額79,649千円)

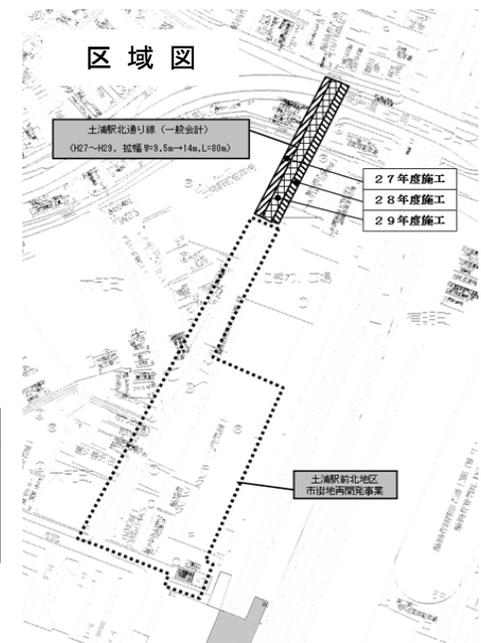
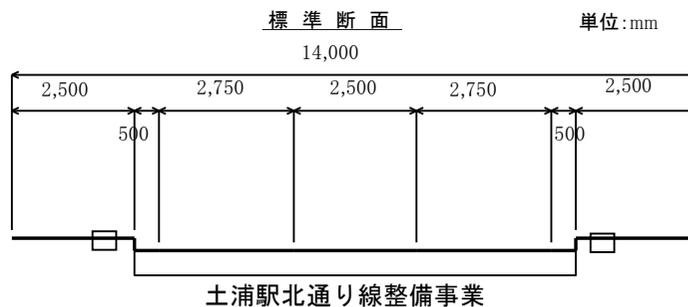
・道路拡幅整備

L=80m, W=14m (9.5m→14m, 両側歩道2.5m)

・電線共同溝

小型トラフ 410mm×240mm L=124m

◎ 電線地中化工事委託 5,228千円



【期待される効果】

道路の拡幅整備に伴い，両側に歩道が整備されるとともに無電柱化が図られることから，来街者の安全性や利便性向上に加えて，駅前にもふさわしい街並み景観の向上にも寄与します。

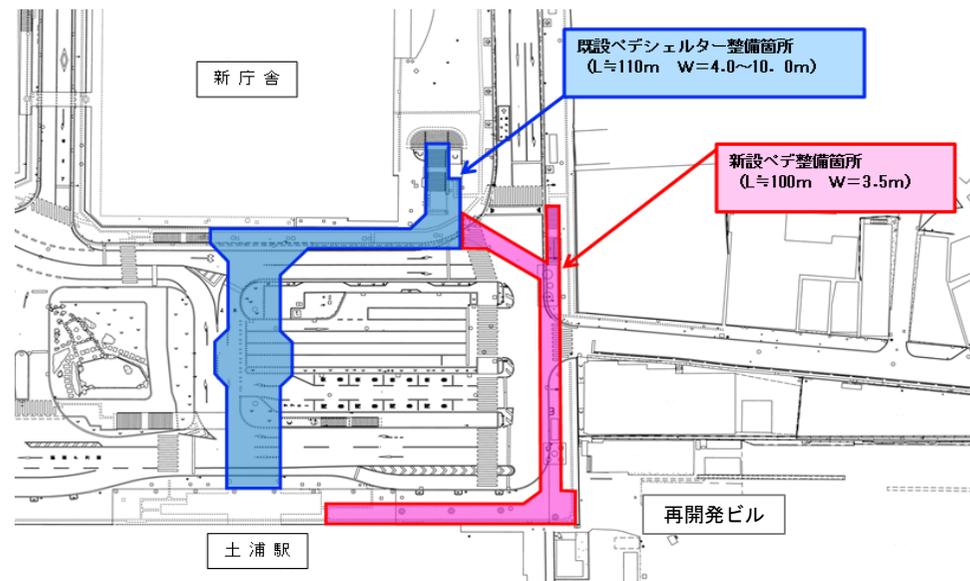
款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
478,388	211,200	236,400		30,788	・工事請負費 473,939 ・補償補填及び賠償金 4,342 ・旅費等 107			

【事業の目的】

新図書館等の公共施設が入る再開発ビルと新庁舎との連絡を強化するため、既存のペDESTロリアンデッキとの連結整備を行うことにより、駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生み出すことを目的とします。

【事業の概要】

- ◎ ペDESTロリアンデッキ整備工事 473,939千円
 (平成26～28年度継続費 総額987,355千円)
 - ・新設ペDESTロリアンデッキ
 (基礎工5基, 下部工5基, 桁架設工, 階段工等)
- ◎ 補償補填及び賠償金 4,342千円
 - ・ペルチ土浦避難器具改修補償



土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業

【期待される効果】

駅前周辺が歩行者デッキで結ばれるとともに歩車道の分離が図られることから、市民生活の利便性や快適な回遊性に加えて、駅前広場を利用する車両や歩行者の安全性が向上し、にぎわい空間の創出にも寄与します。

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	まちなか定住促進支援事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
16,188	8,000			8,188	・負担金補助及び交付金 16,000 ・使用料及び賃借料等 188			

【事業の目的】

中心市街地活性化基本計画に基づき，質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため，中心市街地の定住促進を図る新たな支援制度により，居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を目的とします。

実施期間：平成26～30年度

【事業の概要】

- ①まちなか住宅建替え・購入借入金補助 10,000千円
中心市街地エリア内の住宅を建て替える者又は住宅を購入する者に対して，借入金の3%（上限50万円）を補助します。
- ②まちなか賃貸住宅家賃補助 6,000千円
本市外から中心市街地に住み替える世帯のうち，新婚世帯又は子育て世帯に対して，家賃の1/2（上限2万円）を補助します。

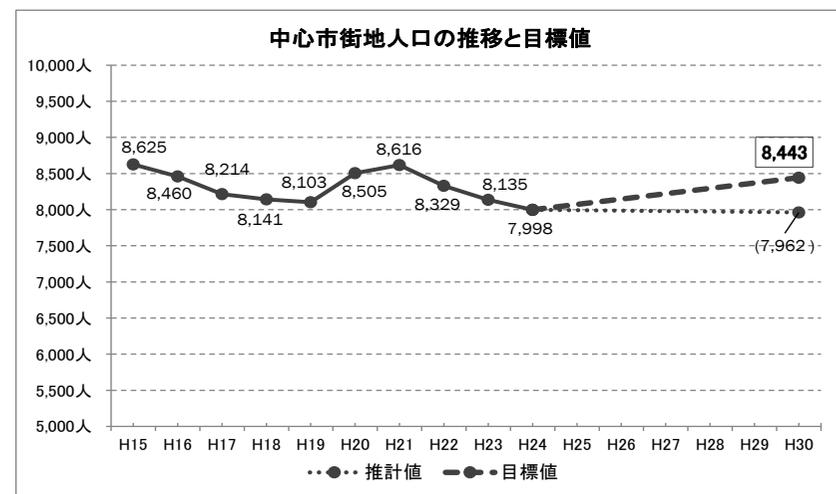
【期待される効果】

居住人口の増加により，中心市街地での活力とにぎわいの創出に寄与します。

◎中心市街地居住人口と目標値：
平成24年度 7,998人 → 平成30年度 8,443人



中心市街地のエリア



款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	中央一丁目地区まちづくり事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	・委託料 1,500			
1,500				1,500				

【事業の目的】

中心市街地活性化基本計画に位置付けた「中央一丁目地区まちづくり事業」を推進することにより、「コンパクトでにぎわいのあるまちづくり」の実現を目指します。

【事業の概要】

暮らしやすい集約型都市構造への転換のため，中心市街地の交流拠点として，民間活力を生かした施設の導入を促進します。

- ・事業手法・事業スキームの検討
- ・民間活力導入の可能性の検討 等

【期待される効果】

都市機能が集積する土浦駅前と，歴史的まちなみが残る亀城公園地区の中間という立地を生かした交流拠点として，回遊性の向上に寄与します。



中央一丁目地区 位置図

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦港周辺広域交流拠点整備事業							
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
2,701				2,701	・委託料		2,500	
					・報償費等		201	

【事業の目的】

公共と民間の連携により、中心市街地における憩いの場として広く市民に開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間として整備し、水辺のにぎわい創出を図ります。

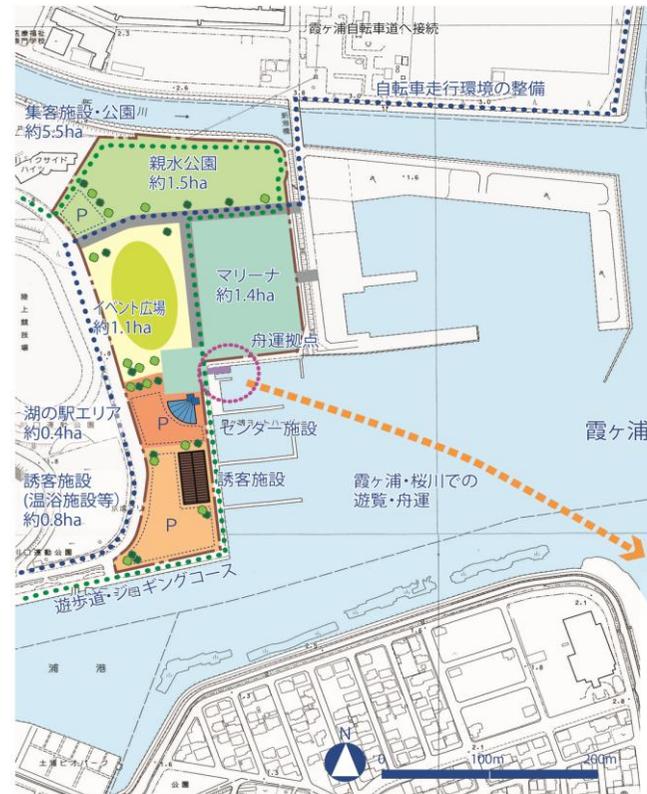
【事業の概要】

(単位：千円)

事業内容	事業費
◎川口二丁目地区官民連携導入条件調査 関連事業の整理、民間事業者の意向把握を進め、民間との連携事業の可能性の検証を行う。	2,500
◎川口二丁目地内暫定広場の活用等 継続的なにぎわいにつなげるため、平成26年度に実施した川口二丁目地区筑波大学学生提案（作品展示等）を活用する。	201
合計	2,701

【期待される効果】

本市の貴重な自然資源である霞ヶ浦を生かして、にぎわいと交流を創出し、中心市街地の活性化に寄与します。



川口二丁目地区の開発イメージ

款	土木費	項	都市計画費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	川口田中線街路事業				
施策の大綱	将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
111,000		92,800		18,200	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 85,917 ・補償補填及び賠償金 13,500 ・公有財産購入費 7,300 ・委託料等 4,283

【事業の目的】

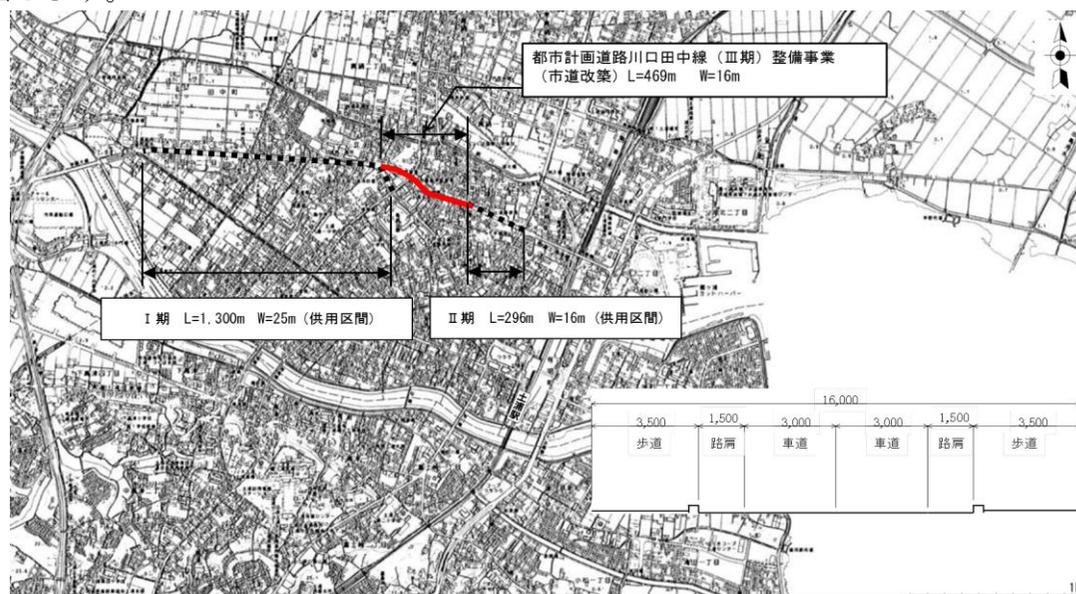
本路線は、本市の中心市街地の骨格となる市街地環状道路として位置付けされており、市街地の東西を結ぶ延長2,500mの道路として都市計画決定され、Ⅰ期・Ⅱ期事業区間は、既に供用開始しています。

本事業では、未整備区間を整備し、全区間の開通を目指します。

【事業の概要】

- ◎川口田中線街路事業(Ⅲ期) 111,000千円
 - ①全体整備延長 L=469m, 幅員 W=16m
 - ②事業年度 平成21~27年度
 - ③平成27年度事業

用地買収	7,300千円
補償	13,500千円
交差点改良工事等	85,917千円
委託料等	4,283千円



【期待される効果】

都市基盤である都市計画道路の整備によって、円滑な交通動線の確保と快適な道路環境を形成することにより、都市機能向上を図るとともに、防災に強いまちづくりにも寄与します。

款	土木費	項	住宅費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	住宅リフォーム助成事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
17,260	8,500			8,760	・負担金補助及び交付金 17,000 ・使用料及び賃借料 260			
<p>【事業の目的】</p> <p>市内の居住環境の向上と地域経済の活性化を図るため、市民が市内施工業者を利用して個人住宅のリフォーム工事を行う場合に、市がその経費の一部を助成するものです。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>平成27年度は、助成金の総額を1,000千円増額した17,000千円として実施します。</p> <p>◎助成対象住宅 市民自らが所有し、居住している個人住宅（ただし、併用住宅等は居住部分のみで、塀は対象外）</p> <p>◎助成対象工事 市内の施工業者を利用して行う10万円以上のリフォーム工事</p> <p>◎助成額 助成対象となる工事費用の10%を助成（ただし、1件当たりの助成限度額は、10万円）</p> <p>※平成26年度実績</p> <p>申請受付期間 平成26年5月1日（木）～平成26年9月25日（木）</p> <p>助成金額 15,997千円（平成26年度予算額16,000千円）</p> <p>助成件数 196件</p> <p>助成対象となった工事費 271,127千円</p> <p>【期待される効果】</p> <p>リフォーム工事に対する助成を行うことで、市民の負担軽減に寄与し、さらに市内の施工業者を利用することで、地域経済の活性化が図られます。</p>								

款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	消防救急無線のデジタル化等共同整備事業						
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
146,440		137,800		8,640	・負担金補助及び交付金	142,790	
					・工事請負費	3,350	
					・備品購入費	300	

【事業の目的】

電波法関係法令の改正により，平成28年5月末日までに消防救急無線機器をデジタル化方式に移行する必要があります。この消防救急無線デジタル化整備費用の削減を図るために，県内の消防本部が共同で無線機器を整備します。

併せて，共同指令センターを整備し，119番通報の集約と出場体制の増強を図り，大規模広域災害に強い指令体制を構築し，消防救急業務の充実強化を目指すものです。

[事業のイメージ]

【事業の概要】

(1) デジタル化無線整備事業

県内21消防本部（34市町）

整備内容：基地局30局 移動局560局

（本市：基地局1局 移動局35局）

(2) 共同指令センター整備事業

県内20消防本部（33市町）

設置場所：水戸市内原町1395番地の1 水戸市役所内原庁舎内

配置人員：56人（本市4人派遣予定）

整備内容：指令台9台 指揮台1台

デジタル化無線整備事業

	共用部分 ・無線基地局 無線装置・電源設備
 	各消防本部分 車載無線機器
21消防本部	

共同指令センター整備事業

	共用部分 指令システム 指令台・指揮台 消防事務支援システム
	各消防本部分 署所端末装置
20消防本部	



共同指令センターのイメージ

【期待される効果】

消防力の基幹である消防施設，通信機器を整備することにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	新消防庁舎整備事業 《合併特例債事業》							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
2,252,114	84,844	1,958,800	175	208,295		・工事請負費 1,983,584 ・公有財産購入費 136,819 ・備品購入費 100,000 ・委託料等 31,711		

【事業の目的】

現在の消防庁舎は，昭和41年に竣工して以来49年が経過し，老朽化・狭あい化が顕著となっているため，多種多様化する災害に対応できる消防拠点として新消防庁舎を建設します。

【事業の概要】

- ◎ 新消防庁舎建設工事（平成26～27年度継続費）
- ◎ 新消防庁舎工事監理委託 ※現庁舎解体工事監理を含む。
（平成26～28年度継続費）
- ◎ 新消防庁舎敷地用地買戻し



新消防庁舎イメージ図

【期待される効果】

消防力の基幹である消防庁舎を，災害活動拠点・訓練活動拠点・市民啓発拠点・情報発信拠点の機能を持つ新消防庁舎に建て替えることにより，消防体制の充実を図り，安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	消防署所再編事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
4,153				4,153	・委託料	4,000		
					・報償費	150		
					・需用費	3		

【事業の目的】

現在，本市の消防署所は，4署，1分署，1出張所の配置となっています。新消防庁舎への土浦消防署の移転，道路交通網の変化などを踏まえて，時代環境に適応した体制を構築し，一層の消防力の向上を図ることを目的とします。

現在の消防署所の配置



【事業の概要】

- 消防力の適正配置等調査委託
消防車両の到着時間等を踏まえ，適正な署所数，必要な消防力など，総合的な調査を実施します。
- 消防署所再編検討委員会
◎外部有識者等を含む。

【期待される効果】

消防署所の適正配置の検討により，現在の消防力及び今後必要となる消防力が明確になり，今後の消防署所整備の方針決定に寄与します。

款	教育費	項	教育総務費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	「小中一貫教育」推進事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
41,208				41,208	・備品購入費	16,836	・報酬	16,408
					・委託料	6,653	・使用料及び賃借料等	1,311

【事業の目的】

小中学校を貫く学びの連続性の中で、学校が主体性や創意工夫に努め、児童生徒の発達段階を考慮しながら、心豊かに個性を発揮できるたくましい子どもの育成を図ります。

【事業の概要】

◎小中一貫教育非常勤講師の配置

市内全中学校区に1人ずつ小中一貫教育非常勤講師を配置し、教職員の連携を補助することにより、小中一貫教育の推進を図ります。

◎情報教育サポーターの配置

教職員のICT機器活用を促進するため、情報教育サポーターを配置し、電子黒板などを利用した効果的な授業を推進します。

◎デジタル教科書の導入

デジタル教科書を導入し、授業における児童生徒の興味・関心を喚起するとともに、表現力の育成にも力を入れていきます。

◎交流会等の行事の実施

各学校間の児童生徒の交流を深めるため、交流会等の行事を実施します。



電子黒板やデジタル教科書を活用した授業

【期待される効果】

義務教育9年間を見通して、子どもたちの学力や心身の成長を意識した指導体制を採り、今まで以上に子どもたちの発達段階に合った指導を行うことができます。また、小中の縦のつながりに加え、中学校区内の小学校の横のつながりの中で、思いやりのある児童生徒の育成が期待できます。

款	教育費	項	小学校費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	------	------	----	----	----	---------

事業名	都和小学校校舎改築事業						
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,520,713	129,346	1,010,800		380,567	・工事請負費	1,472,484	
					・委託料	31,947	
					・備品購入費	16,000	
					・役務費等	282	

【事業の目的】

老朽化が進んでいる都和小学校校舎の改築を行い、建物の耐震性・耐久性を確保することにより、児童の学習環境の改善を図ります。

【事業の概要】

平成26年9月に着工し、平成28年2月の供用開始を目指しています。

- ◎校舎改築工事
- ◎校舎改築工事監理委託
- ◎什器類等購入

[計画建物]

- (1) 延床面積 5,214㎡
- (2) 構造 鉄筋コンクリート造
- (3) 階高 3階建て
- (4) 設備等 エレベータ設置，雨水利用
多目的スペース，太陽光発電設備

【期待される効果】

校舎の改築により、安心安全な建物にすることができ、学習環境の向上に寄与します。



完成予想図（南側外観）



完成予想図（正門付近）

款	教育費	項	小学校費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	第二小学校屋内運動場改築事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
314, 229	39, 888	215, 600		58, 741	・工事請負費	304, 528		
					・委託料	6, 774		
					・備品購入費	2, 800		
					・役務費等	127		

【事業の目的】

老朽化が進んでいる第二小学校屋内運動場の改築を行い，非常災害時の避難場所に指定されている建物の耐震性・耐久性を確保するとともに，児童の学習環境の改善を図ります。

【事業の概要】

平成26年9月に着工し，平成28年2月の供用開始を目指しています。

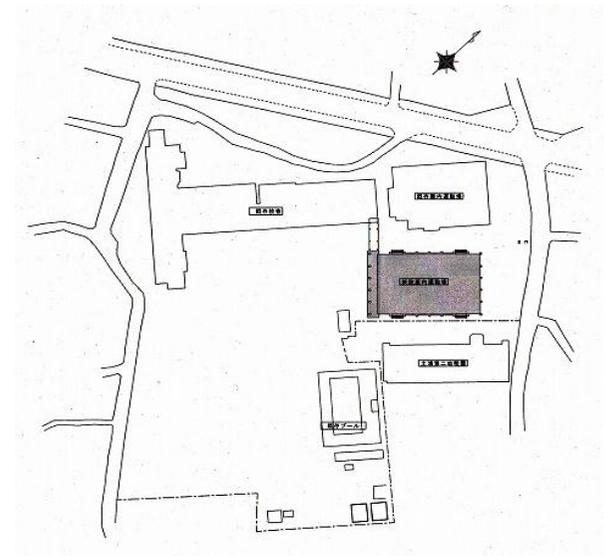
- ◎屋内運動場改築工事
- ◎屋内運動場改築工事監理委託

[計画建物]

- (1) 延床面積 958㎡
- (2) 構造 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造
- (3) 階高 2階建て



立面図



配置図

【期待される効果】

屋内運動場の改築により，安心安全な避難場所を確保するとともに，児童の学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	小学校／中学校施設非構造部耐震化事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
374,000	124,666	249,300		34	・工事請負費		343,813	
					・委託料		30,187	

【事業の目的】

東日本大震災の際に、各地で被害が顕在化した学校施設の非構造部材の落下防止等対策を推進します。

【事業の概要】

つり天井である小中学校の屋内運動場10校について、天井撤去、照明器具及び設備類の固定化を行います。

◎非構造部耐震化工事

◎非構造部耐震化工事監理委託

[対象校]

小学校3校：神立小，都和南小，乙戸小

中学校7校：一中，二中，三中，四中，五中，六中，都和中



つり天井の例

【期待される効果】

屋内運動場の非構造部の耐震化により、非常災害時の避難場所にも指定されている学校建物の安全性を確保するとともに、児童生徒の安心安全な学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	中学校費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	------	------	----	----	----	---------

事業名	中学校施設耐震化事業						
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
214,610	72,437	127,900		14,273	・工事請負費	205,125	
					・委託料	9,472	
					・旅費等	13	

【事業の目的】

学校建物は、児童生徒が多く時間を過ごす場所であるとともに、非常災害時には地域住民の避難場所ともなることから、計画的に耐震診断を進めてきました。耐震診断の結果に基づき、計画的に耐震化の必要がある建物の耐震補強工事などを行い、学校建物の安全性等を確保するものです。

【事業の概要】

中学校校舎の耐震補強及び大規模改造工事を行います。

◎実施建物

- ・第一中学校特別教室棟
- ・第五中学校校舎棟



土浦第五中学校校舎棟

【期待される効果】

児童生徒が安心安全に学校生活を過ごせるよう、教育環境の充実に寄与します。

款	教育費	項	社会教育費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	特別展・企画展事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
3,000			400	2,600	・ 役務費	1,403	・ 需用費	1,231
					・ 旅費	196	・ 報償費等	170

【事業の目的】

上高津貝塚ふるさと歴史の広場では，特別展を通じて土浦の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開することで，市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに，本市の教育普及事業の更なる充実を図ります。

【事業の概要】

- ・ 会 期： 平成27年10月～平成27年11月（予定）
- ・ タイトル： 開館20周年記念 第14回特別展「（仮称）上高津貝塚ができたころ－霞ヶ浦沿岸の縄文後晩期社会－」
- ・ 内 容： 上高津貝塚は，縄文時代の終わり頃の貝塚で，規模の大きさや保存状態が良好であることから国の史跡に指定されています。展示では，貝塚がつくられた頃の縄文社会について，最新の研究成果を踏まえ，紹介します。



国指定史跡
上高津貝塚貝層
断面展示施設



上高津貝塚出土
製塩土器

【期待される効果】

歴史・文化遺産を考古学的な視点により調査整理した成果を公開することにより，市民の埋蔵文化財への理解が深まるとともに，更なる文化財保護の契機となることが期待されます。

款	博物館費	項	社会教育費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	------	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	戦後70年「市民の記憶」収集事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
125				125	・報償費	75	・需用費	50

【事業の目的】

平成27年に戦後70年という節目を迎える機会に、戦中、戦後を生きてきた市民の体験について聞き取り調査を実施し、その記憶の保存と活用、継承を図ります。

【事業の概要】

戦後70年の節目を迎えるに当たり、第2次世界大戦の戦中、戦後の厳しい時代を経験した世代が高齢化する現状を踏まえ、聞き取り調査やアンケートの実施により、市民の当時の記憶や体験を記録します。調査の成果は、博物館で保存し、調査報告書を刊行するとともに、館内の情報ライブラリーコーナーや学校教育の教材として活用します。

◎事業の全体計画

- ・平成27年度：市民への聞き取り調査，アンケート調査
調査協力者謝礼 75千円，調査消耗品 50千円
- ・平成28年度：調査資料の整理，補足及び追加調査
- ・平成29年度：調査報告書の原稿作成，編集
- ・平成30年度：調査報告書の刊行
- ・平成31年度：学校教材版の作成・刊行
情報ライブラリーコーナーでの公開

【期待される効果】

戦中、戦後の貴重な体験を風化させず保存し、研究や教育に活用することで、市民の記憶の次世代への継承を図ります。

款	教育費	項	社会教育費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	放課後児童クラブ推進事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
96,238	22,130	13,000	9,015	52,093	・報酬	53,620	・工事請負費	32,000
					・需用費	7,938	・備品購入費等	2,680

【事業の目的】

児童福祉法の改正により，放課後児童クラブの対象児童が小学校6年生まで拡充されたことに伴い，児童クラブの増設等を行い，受入れ態勢の確保を図ります。

【事業の概要】

◎児童クラブ室の増設

- ・土浦第二小児童クラブ室
- ・大岩田小児童クラブ室
- ・都和南小児童クラブ室

◎各児童クラブ室修繕，備品等整備

◎高学年生受入れ体制の整備

- ・支援員，補助員の増員
- ・備品類整備

[入所児童数の推移]

(単位：人)

年 度	1～3年生児童クラブ入所児童数	4～6年生児童クラブ入所児童数	合 計
平成24年度	1,149		1,149
平成25年度	1,211		1,211
平成26年度	1,230		1,230
平成27年度 (見込み)	1,262	300	1,562

【期待される効果】

放課後児童クラブを増設することで，6年生まで拡充される児童の受入れ体制を確保します。また，民間等への委託について検討を加えることにより，仕事と子育ての両立を支援し，児童の健全育成の向上に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	水郷プール再整備事業				
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,477,895	667,290	600,500	101,371	108,734	・工事請負費 1,433,776 ・備品購入費 25,000 ・委託料 18,819 ・旅費 300

【事業の目的】

東日本大震災で被害を受けた水郷プールについて，規模を縮小し，屋外型の市民プールとして現在地に再整備します。□

【事業の概要】

◎プール施設の概要

- ・流水プール : 延長 270.5m, 幅 6.0m
- ・多目的プール : 25m×8コース
- ・ちびっ子プール : 376㎡
- ・直線スライダー : 延長 30.8m×3レーン
- ・チューブスライダー : 延長 80.7m×1レーン, 延長 50.2m×1レーン
- ・管理棟 : 1棟 (鉄筋造2階建て 899.51㎡)

◎供用開始時期 : 平成28年7月 (予定)

◎プール新設工事

- ・整備工事費 : 1,433,776千円
 - ・工事監理委託料 : 18,819千円
 - ・備品購入費 : 25,000千円
 - ・工事検査旅費 : 300千円
- うち667,290千円については，社会資本整備総合交付金を充当予定



水郷プール イメージ図

【期待される効果】

水郷プールを再整備することにより，市民の健康の維持・増進及びスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ります。

款	教育費	項	保健体育費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	川口運動公園野球場観覧席，夜間照明灯及び関連施設整備事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と，子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
101,468	3,000	73,000		25,468	・工事請負費	98,293		
					・委託料	2,062		
					・役務費	1,025		
					・旅費	88		

【事業の目的】

老朽化が著しく，狭あいな野球場の観覧席を増設します。また，平成31年度の茨城国体で軟式野球の会場として予定されていることから，併せて夜間照明灯の整備を実施します。

【事業の概要】

◎野球場整備の概要

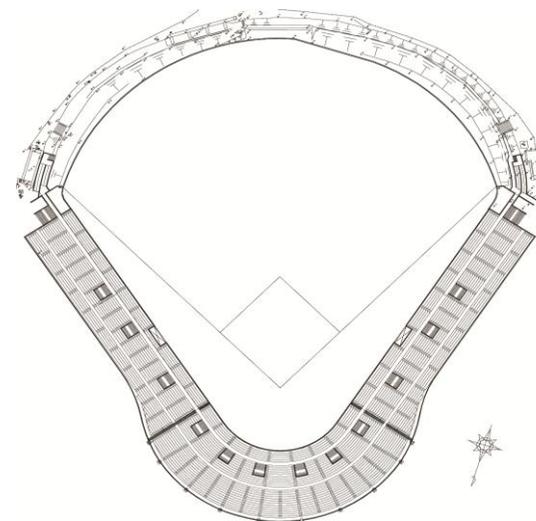
- ・収容人数（内野席）：約10,000人
- ・内野スタンド面積：8,620.68㎡
- ・夜間照明灯：ナイター照明設備 6基

◎供用開始時期 平成29年7月（予定）

◎野球場整備工事（平成27～29年度の3か年で継続費を設定）

- ・既存観覧席解体工事：平成27年度
- ・観覧席整備工事，夜間照明灯整備工事：平成27～29年度
- ・グラウンド整備工事：平成28年度

※夜間照明灯の整備工事に対しては，「第74回国民体育大会市町村競技施設整備費補助金」が交付予定。



川口運動公園野球場平面イメージ図

【期待される効果】

利用者の利便性や観客の観戦環境の向上及び安心・安全な施設運営に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-------	------	----	----	----	---------

事業名	土浦市立学校給食センター再整備事業				
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
32,666				32,666	・委託料 32,600 ・旅費 66

【事業の目的】

第一学校給食センターは築45年、第二学校給食センターは築40年が経過し、施設設備の老朽化が著しく、また、耐震基準を満たしていないことなどから、新たな用地に1センター方式で移転・統合をします。

【事業の概要】

◎再整備基本構想

- ・提供給食数 12,000食/日
- ・献立方式 3献立制
- ・対象学校 全公立幼稚園5園 全小中学校27校
- ・敷地面積 約10,000㎡
- ・延床面積 約5,900㎡ (今後、最適な面積を設計の中で検討)
- ・整備期間 平成27～29年度
- ・供用開始 平成30年4月 (予定)



第一学校給食センター



第二学校給食センター

◎平成27年度の事業内容

- ・学校給食センター再整備基本・実施設計委託(平成27～28年度の2か年で継続費を設定)

(単位：千円)

平成27年度	平成28年度	計
23,100	53,900	77,000

- ・土地測量，地質調査委託 9,500千円

【期待される効果】

新しい給食センターを整備することにより、安心安全でおいしい学校給食を継続して提供することができます。

款	災害復旧費	項	文教関係災害復旧費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	指定文化財等復旧事業							
施策の大綱	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
21,164	9,175			11,989	・負担金補助及び交付金			21,164

【事業の目的】

東日本大震災によって被害を受けた文化財の修復工事を行い、貴重な文化財を本来の姿に戻すことにより、文化財の保護・保存に努めるとともに、その修復費用を助成して文化財所有者の負担を軽減することにより、郷土の誇る文化財を次の世代に継承していくことを目的としています。

【事業の概要】

東日本大震災により被害を受けた茨城県指定建造物「矢口家住宅」の修復工事に係る費用の一部を助成します。

なお、修復工事については、平成24～27年度の4か年で実施し、平成25年度からは、所有者の負担軽減を図るため、国の「社会資本整備総合交付金」を活用しています。

- ・平成24年度 元蔵解体修理
- ・平成25年度 元蔵・店蔵・袖蔵解体修理
- ・平成26年度 店蔵・袖蔵解体修理
- ・平成27年度 店蔵・袖蔵・米蔵外解体修理

◎県指定建造物「矢口家住宅」

補助対象経費 126,988千円

県補助金 95,241千円 (補助対象経費の3/4以内)

市補助金 21,164千円 (補助対象経費から県補助金を除いた額の2/3以内)



修復中の矢口家住宅

【期待される効果】

震災で被害を受けた指定文化財等の復旧工事を行い、貴重な文化財を元の状態に戻すことで文化財の保護と保存を図ります。また、文化財修復費用の助成を行い、文化財所有者の経費負担を軽減することにより、私たちの郷土に受け継がれてきた貴重な文化遺産を、次の世代へ引き継ぐことができます。

主要事業の概要

特別会計

4月1日水曜日



©土浦市

款	下水道費	項	下水道管理費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	------	---	--------	------	----	----	----	---------

事業名	下水道長寿命化対策事業				
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
96,000	48,000	48,000			・工事請負費 96,000

【事業の目的】

下水道施設の健全度に関する点検・調査結果に基づいた長寿命化計画により，予防保全的な管理を行います。また，計画的な改築を行うことにより，事故などの未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図ります。

【事業の概要】

- ◎公共下水道污水管渠更生工事 L = 143.18m
- ◎公共下水道人孔更生工事 3基
- ◎マンホール鉄蓋更新工事 36か所



施工前



施工後

污水管渠更生工事整備状況

【期待される効果】

長寿命化計画に基づき，下水道施設の更生・更新を計画的に行うことにより，事故などの未然防止及びライフサイクルコストの最小化に寄与します。

款	下水道費	項	下水道建設費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	公共下水道（污水）整備事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
553,710	150,000	367,100	27,220	9,390	・工事請負費	515,000		
					・委託料	18,400		
					・補償補填及び賠償金	11,000		
					・報酬等	9,310		

【事業の目的】

生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図るため、計画的に公共下水道の整備を進めます。

【事業の概要】

◎公共下水道整備事業

- 管渠^{きよ}整備工事（補助） L = 2,250m
- 管渠^{きよ}整備工事（単独） L = 2,300m
- 実施設計委託 L = 2,600m

◎特定環境保全公共下水道事業

- 管渠^{きよ}整備工事（単独） L = 120m

※参考

本市の下水道人口普及率 87.4%
 〈平成26年3月末現在。特定環境保全公共下水道を含む。〉
 （全国平均 77.0%，茨城県平均 59.2%）



荒川沖第二処理分区荒川沖地内整備状況

【期待される効果】

生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与します。

款	下水道費	項	下水道建設費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	公共下水道雨水排水路整備事業							
施策の大綱	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
850,837	293,065	548,100		9,672	・委託料	480,566		
					・工事請負費	334,910		
					・公有財産購入費	32,100		
					・補償補填及び賠償金等	3,261		

【事業の目的】

市街化の進展に伴う降雨時の家屋，道路等の浸水被害（冠水）の解消を図ります。

【事業の概要】

◎木田余1号雨水幹線整備事業

①補助分

J R 常磐線横断部委託工事 □3,400mm×2,300mm L = 20m

◎神立菅谷雨水幹線整備事業

①補助分

神立菅谷雨水幹線調整池工事 土工・底盤工

神立菅谷雨水幹線調整池接続部工事 □3,800mm×2,500mm L = 40m

②単独分

J R 常磐線横断部詳細設計委託 平成26～27年度

神立菅谷雨水幹線調整池工事 土工・残土処分工 V = 12,000m³

雨水幹線暫定整備工事（常磐線西側） L = 200m

◎合流式下水道緊急改善事業事後評価（補助分）

事後評価委託（亀城処理分区（合流地区）における事業効果の検証委託）



神立菅谷雨水幹線調整池工事整備状況

【期待される効果】

大雨による浸水被害が減少し，市民の生活環境の向上に寄与します。

款	卸売市場費	項	卸売市場管理運営費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	公設卸売市場施設整備事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
150,000				150,000	・工事請負費 141,572 ・委託料 8,428			

【事業の目的】

市場業者等からの要望を踏まえ，市場の施設・設備等の改修・更新を行い，市場機能の強化を図ります。

【事業の概要】

◎公設地方卸売市場の概要 敷地面積 78,412㎡ 建物面積 25,300㎡

- ・昭和60年 8月 業務開始
- ・平成19年10月 市場民営化検討部会発足
- ・平成22年10月 指定管理者制度導入
- ・指定期間 平成22年10月 1日～平成25年 3月31日
平成25年 4月 1日～平成28年 3月31日

◎施設整備状況

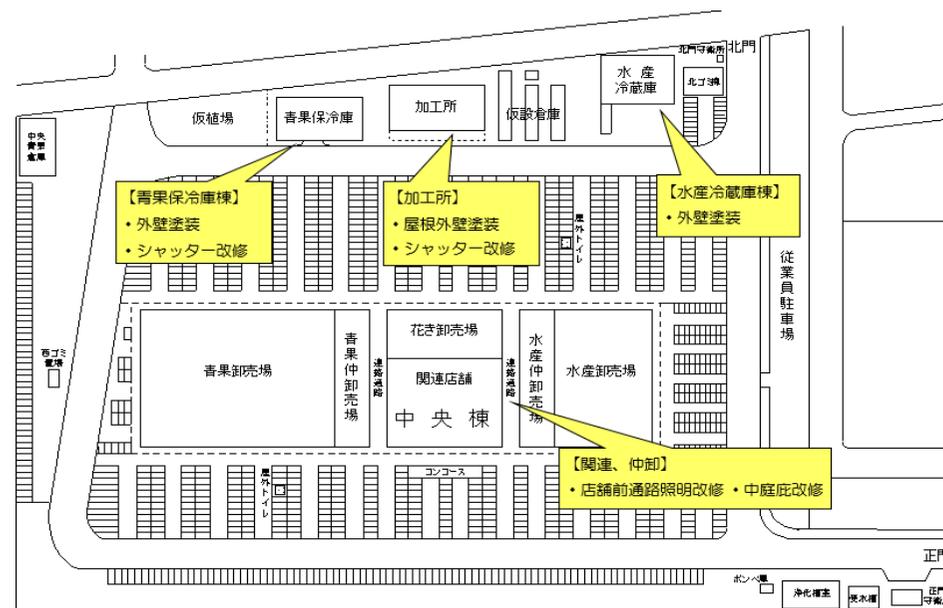
- ・平成22年度 駐車場舗装打替工事他10件 146,556千円
- ・平成23年度 空調設備改修工事他4件 97,403千円
- ・平成24年度 市場中央棟外壁工事他5件 115,689千円
- ・平成25年度 新施設整備実施設計委託 2,247千円
- ・平成26年度 トイレ改修，中央棟建築改修工事 143,511千円

◎平成27年度整備計画

- 改修建築工事 118,973千円
- 改修電気設備工事 22,599千円
- 改修工事監理委託 8,428千円 合計 150,000千円

【期待される効果】

平成28年度の市場の民営化に向け，施設・設備等の改修・更新を行うことにより，市場機能の強化が図られます。



平成27年度改修工事予定箇所

款	再開発事業費	項	再開発事業費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	土浦駅前北地区市街地再開発事業							
施策の大綱	産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
2,556,725	684,800	407,200	498	1,464,227	・工事請負費 2,036,494 ・補償補填及び賠償金 404,445 ・委託料 52,282 ・役務費等 63,504			

【事業の目的】

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地活性化の核事業として，土浦駅前北地区に図書館，ギャラリーを核とした再開発事業を実施し，新市庁舎移転とともに周辺地区への波及効果を高めることで，活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

【事業の概要】

(1) 市街地再開発事業

- ◎ 施設建築物工事 1,938,547千円（図書館，ギャラリー整備事業繰入分1,048,275千円含む）
（平成27～29年度継続費 総額6,137,916千円）・施設棟，駐車場棟建築工事及び敷地除去工事
- ◎ 工事監理，管理運営計画作成，コーディネート委託 44,211千円
（平成27～29年度継続費 総額127,767千円）
- ◎ 税務コンサルティング委託 1,723千円（平成26～28年度継続費総額3,953千円）
- ◎ 都市再開発法91条補償及び97条補償（用地補償，建物補償，通損補償）399,078千円

(2) 土浦駅北通り線整備

- ◎ 道路整備工事 97,947千円（平成27～29年度継続費 総額233,101千円）
・歩道部改良工事，共同溝敷設工事
- ◎ 支障物件移設補償（東京電力，NTT）14,400千円

【期待される効果】

新市庁舎移転等と併せて，駅前周辺環境が大きく改善されることから，中心市街地としての魅力の再生・活性化，安全・快適な駅前環境の創出及び都市の防災性の向上など，駅前の新しい顔づくりにより本市が抱える多様なまちづくりの問題解決に資するものです。



区域図



施設イメージ図

款	資本的支出	項	建設改良費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
734,000		50,000	49,160	634,840	・工事請負費	660,230		
					・委託料	73,770		

【事業の目的】

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、配水管の計画的な整備を行い、未給水地域を解消するとともに、安心・安全な水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図ります。また、耐用年数の経過した鑄鉄管等の計画的な更新を行います。

【事業の概要】

◎配水管施設整備事業（214,000千円）

- 実施設計委託 L = 3,030m
- 配水管布設工事 L = 3,605m
- 消火栓設置工事 10基

◎老朽管更新事業（520,000千円）

- 実施設計委託 L = 7,280m
- 老朽管更新工事 L = 6,447m



工事の様子

【期待される効果】

利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の確保に寄与します。

款	資本的支出	項	建設改良費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	配水場整備事業（右糶配水場）							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
1,164,000		200,000		964,000	固定資産購入費	1,141,420		
					委託料	22,580		

【事業の目的】

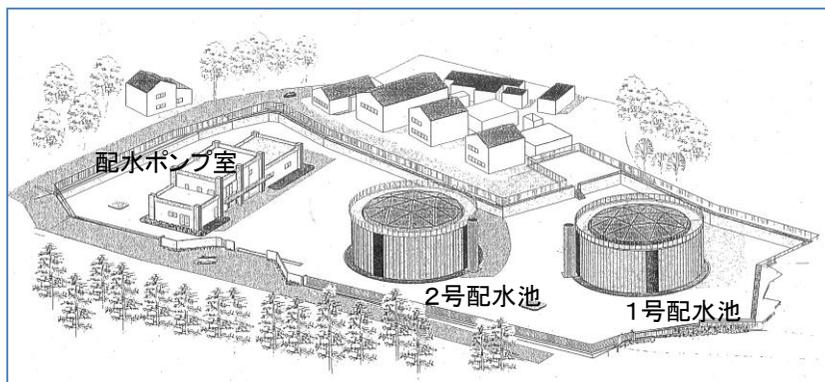
昭和45年建設の老朽化した施設を更新し、給水エリアに対応した施設能力を確保するとともに、災害に備えた施設の整備を行うことで、水道水の安定供給を図ります。

【事業の概要】

配水ポンプ室築造工事，機械・電気計装設備工事，場内配管工事（1,141,420千円）

既設配水管接続実施設計委託，施工監理委託（22,580千円）

- ◎今後の予定 平成28年度 既設配水管接続工事，場外送・配水管工事，場内整備工事
- 平成29年度 外構工事等，供用開始予定



右糶配水場完成予想図



右糶配水場移転予定地

【期待される効果】

利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の確保に寄与します。

第7次土浦市総合計画体系別主要事業一覧表

この一覧表は、平成19年度に策定した第7次土浦市総合計画の「計画推進の基本姿勢」及び「施策の大綱」に謳われた8つの柱に基づいて、主要事業を表示したものです。

事 業	頁
【行財政改革の推進と市民サービスの向上】	
新庁舎整備事業	17
第5次行財政改革大綱策定事業	23
公共施設等総合管理計画策定事業	24
個人番号制度導入システム整備事業／個人番号カード交付事業／証明書コンビニ交付事業	25
地域公民館整備事業	26
【市民と行政が一体となった協働のまちづくり】	
シティプロモーション推進事業	19
ふるさと土浦応援寄付事業	20
男女共同参画センター事業／第3次土浦市男女共同参画推進計画後期計画策定事業	22
協働のまちづくりファンド事業	27
【将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり】	
道路新設改良事業	57
地域公共交通確保維持改善事業	59
かわまちづくり事業	60
亀城モール整備事業	61
立地適正化計画策定事業	63
木田余神立線／神立停車場線街路事業	65
常名虫掛線街路事業	66
真鍋神林線延伸道路整備事業　　《合併特例債事業》	67
田村沖宿線延伸道路整備事業　　《合併特例債事業》	68
荒川沖木田余線整備事業	69
土浦港周辺広域交流拠点整備事業	74
川口田中線街路事業	75

事 業	頁
【保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり】	
公的医療機関高度専門医療体制運営支援事業	21
障害者社会参加活動支援事業	30
日常生活用具給付事業	31
高齢者移送サービス事業	32
認知症施策推進事業	33
生活困窮者自立支援事業	34
ひとり親・多子世帯ファミサポ利用支援事業	35
子ども・子育て支援事業	36
公立保育所民間活力導入事業	37
医療体制強化事業	38
【心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさあふれるまちづくり】	
「小中一貫教育」推進事業	80
都和小学校校舎改築事業	81
第二小学校屋内運動場改築事業	82
小学校／中学校施設非構造部耐震化事業	83
新治地区小中一貫教育学校整備事業	84
中学校施設耐震化事業	85
特別展・企画展事業	86
戦後70年「市民の記憶」収集事業	87
放課後児童クラブ推進事業	88
水郷プール再整備事業	89
川口運動公園野球場観覧席、夜間照明灯及び関連施設整備事業	90
土浦市立学校給食センター再整備事業	91

事業	頁
【市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり】	
防犯対策事業	28
地域防災対策整備事業	29
「ゾーン30」整備事業	55
橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業	56
都市下水道整備事業／小規模排水路整備事業	58
消防救急無線のデジタル化等共同整備事業	77
新消防庁舎整備事業 《合併特例債事業》	78
消防署所再編事業	79
下水道長寿命化対策事業	95
公共下水道雨水排水路整備事業	97
【産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり】	
ジオパーク推進事業	18
協働のまちづくりファンド事業	27
そばまつり事業	46
農産物地域特産化推進事業	47
田んぼアート事業	48
土地改良区等指導育成事業	49
一般地帯土地改良事業(農道・かんがい排水事業)	50
プレミアム付商品券補助事業	51
企業誘致事業	52
イルミネーション事業	53
花火大会事業	54
土浦駅西口広場整備事業	62
神立駅西口地区土地区画整理事業	64
土浦駅北通り線整備事業	70
土浦駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業	71
まちなか定住促進支援事業	72
中央一丁目地区まちづくり事業	73
公設卸売市場施設整備事業	98
土浦駅前北地区市街地再開発事業	99

事業	頁
【心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさあふれるまちづくり】	
指定文化財等復旧事業	92
【人と環境にやさしい循環型社会づくり】	
市営斎場整備事業 《合併特例債事業》	39
プラスチック製容器包装分別収集事業	40
生ごみ分別収集事業	41
汚泥再生処理センター整備事業	42
ごみ焼却施設整備事業	43
地球温暖化対策推進事業	44
自然環境調査事業	45
住宅リフォーム助成事業	76
公共下水道(汚水)整備事業	96
配水管施設整備事業／老朽管更新事業	100
配水場整備事業(右廻配水場)	101



©土浦市